



# 横山隧道の魅力発見

話者：永富 謙

## ● 話のながれ

- ・ 私が横山隧道に興味を持ったきっかけ
  - ➔ 近代土木遺産 とは何か
- ・ 湖北に残る旧隧道を土木遺産的観点から解説
- ・ 横山隧道の建設に携わった技術者・村田鶴について
- ・ 横山隧道ができるまで（歴史的背景）
- ・ 横山隧道の最大の魅力

【 きっかけ 】



1994年初夏合宿の私（国道303号・若狭街道 水坂峠）

自転車で旅をする

➡ 道に興味を持つようになる

➡ 古いトンネルや橋に興味を持つようになる

## ● 近代以降の道の歴史

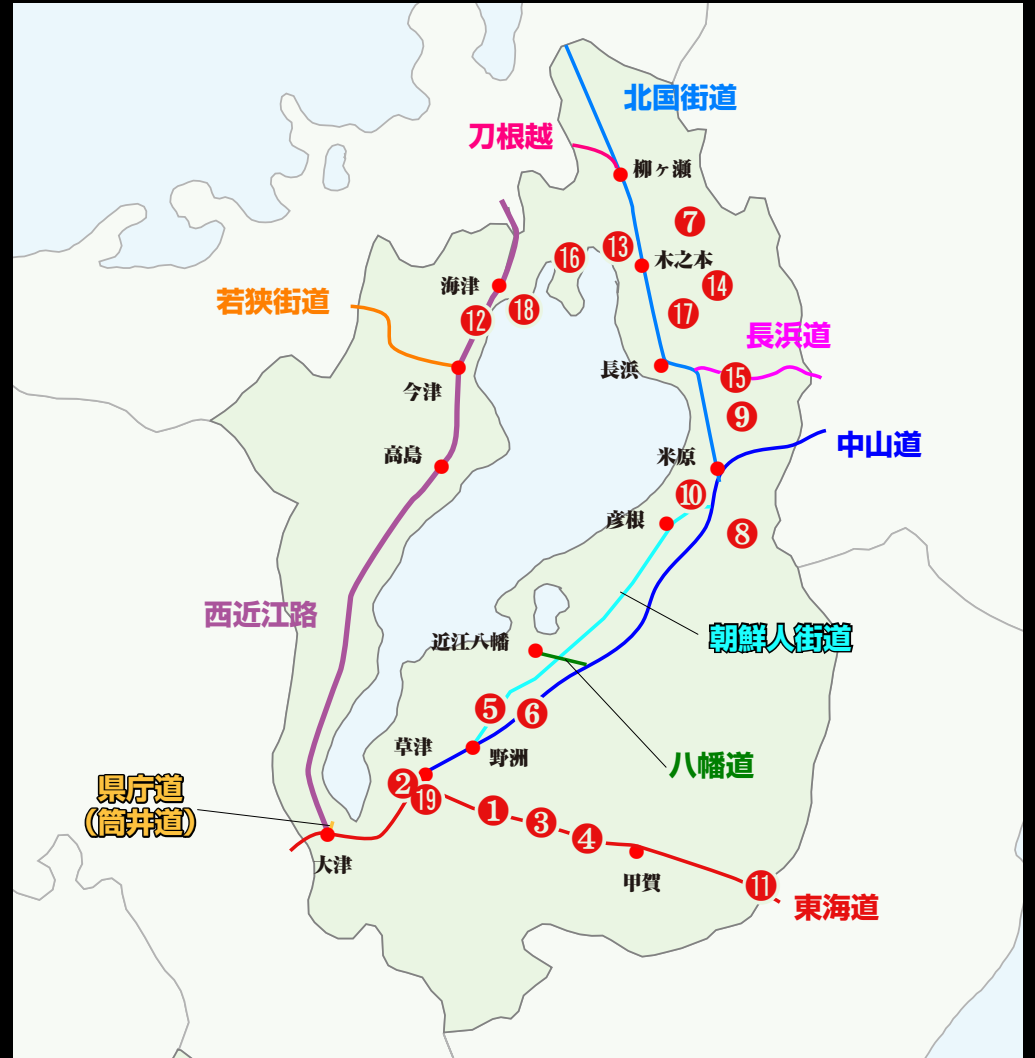
- ・ 高々 150 年前のことなのに、意外と忘れられている
- ・ 町村史、地誌でも省略されがち
- ・ 散り散りになった情報を集めて、やっとわかる





**若狭街道 保坂カルバート（明治 23 年竣工？）**





刀根越 (明治 11 年改修)





刀根越（明治 11 年改修）





基準点第 10509 号 一等水準点 (昭和 3 年設置)



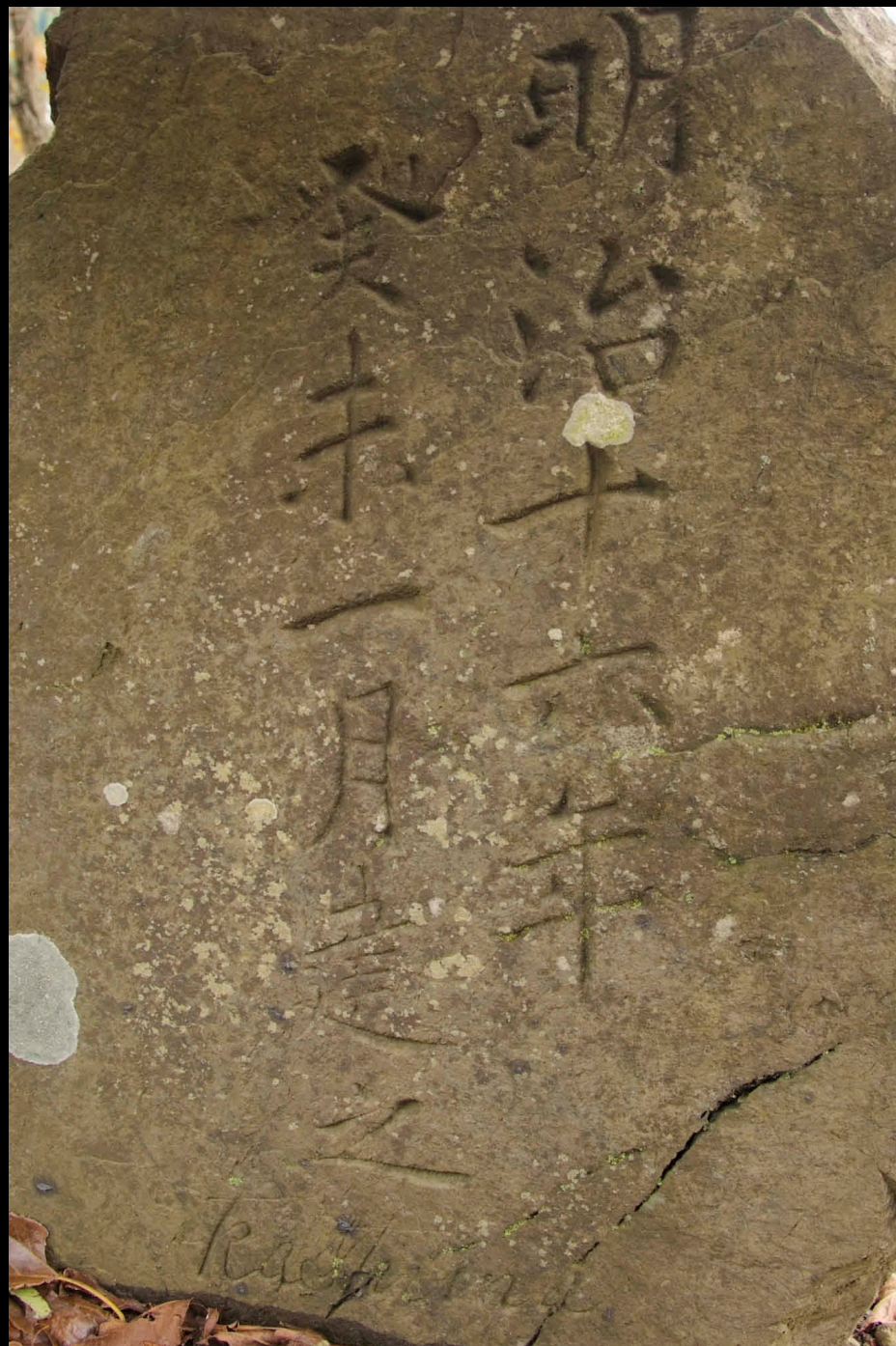


↑  
刀根越

↗  
北国街道、  
鉄道敦賀線

刀根越 柳ヶ瀬方道標（明治 16 年建碑）





刀根越 柳ヶ瀬方道標（明治 16 年建碑）



## ●菅野忠五郎編 『鹿島組史料』 p.6

鹿島岩蔵氏の鹿島組は、本線中の **中ノ郷、柳ヶ瀬隧道間** と、**足田、刀根間との土工々事を特命され**、鹿島氏の代人として新見七之丞星野鏡三郎両氏が現場を分担し、下請は主に京浜線請負者梅田半之助氏の配下であったものを傭役した。(略)鹿島岩蔵氏は、宿望の鉄道請負に参加を許されたので、勇躍現地に乘込んで懸命に奮闘(略)損益を度外視して誠実に仕事をしたことを認められ、政府から二万円の補助金を下附された。

# ●大正九年四月一日 内務省告示第二十八号

国道十二号 東京市より石川県庁所在地に達する路線（乙）

## 経過地

一号路線（名古屋市南区熱田市場町に於て分岐）（名古屋市西区南外堀通景雲橋、明道町経由）岐阜県稲葉郡加納町 同県安八郡和合村 大垣市 岐阜県不破郡関原村 福井県敦賀郡敦賀町 福井市（幸橋経由）



## ● 『滋賀県議会史』 第4巻 p.112

### 三一 府県道路線追加認定ノ件諮問（諮第一号）

本議案は、国道第十二号線変更の結果、木之本から国境に至る区間は除外せられたので、中ノ郷を起点として国境に至る一里二十九町余を、中ノ郷敦賀線として認定したいという諮問である。一読会（一二月八日）において前示特別委員に付証、一二月一三日の委員長（八番）の報告は、諮問通り可と認めたというのであり、結局同日付で「府県道路線追加認定諮問の件ハ意見無之候条此段及答申候成」と答申した。

（昭和2年 通常県会）

# 大正9年の国道12号

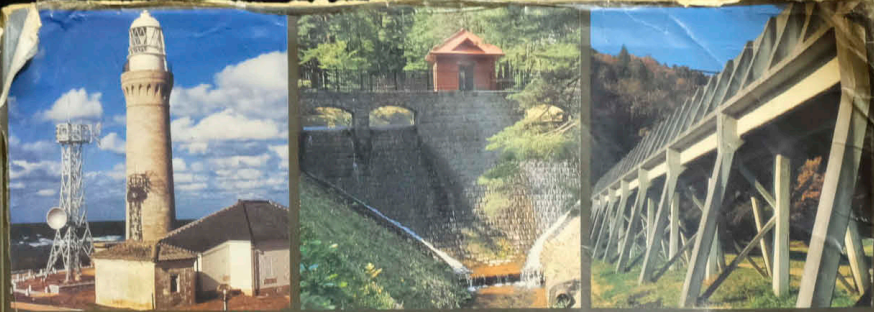


# 昭和3年の国道12号





“ 古いトンネルや  
橋のことを知れる  
よい本はないか。”

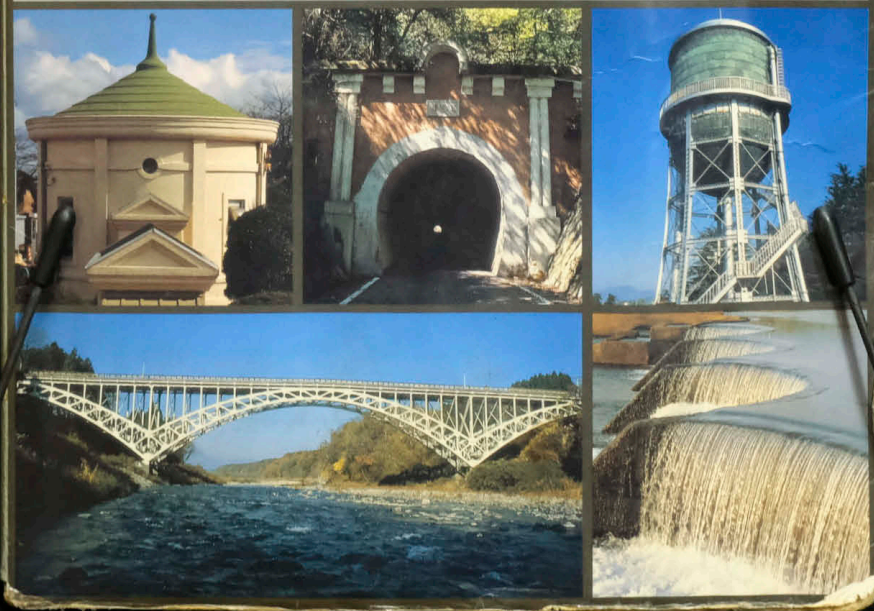


## 日本の近代土木遺産

現存する重要な土木構造物2000選

Civil Engineering Heritage in Japan

Important 2000 Structures as Monument of the Modernized Japan 1865-1945



## ● “近代土木遺産”とは

- ・ 近代に建造され、現存する土木構造物  
(橋、トンネル、ダム、堤防、水門、駅舎、灯台、排水機場、鉱山施設、ドック、発電所、水道施設、軍事施設、並木、石畳、軌道、運河、……)
- ・ 中でも特に重要な物件——土木史上・技術史上・地域史上で特筆すべき価値があるものを『近代土木遺産 2000 選』として公表 (2001 年)

## ● “近代土木遺産” が制定された背景

- ・ 土木構造物＝注目されないまま、失われてしまいやすい  
(老朽化、自然災害、戦災、etc.)

➡ 『貴重なので保存する必要がある』というアピール

- ・ そもそも どのような土木構造物が現存しているのか 不明

➡ 調査によって全体像が判明し、

それを用いた **客観的な評価** が可能に



# 滋賀県

名称	ふりがな	区市町村	付帯情報	形式
篠津川・兵田川橋梁	しのつがわ・ひょうだがわ	大津市	JR東海道本線／篠津川、兵田川	煉瓦斜拱梁(同ポータル)
鯉丸跨線橋	せみまる	大津市	京阪・大津線<京津電気軌道>/JR東海道本線	煉瓦拱梁(煉瓦+石ポータル)
大鳥居水路橋(大鳥居発電所)	おおとりい	大津市	関西電力<京都電灯>/大戸川二百谷	石アーチ(水路)
(廃)逢坂山トンネル(下り線, 大津方)	おうさかやま	大津市	京都大学地球物理学教室観測所<東海道本線>	煉瓦トンネル(石ポータル)
新逢坂山トンネル(大津・山科方)	しんおうさかやま	大津市	JR東海道本線	煉瓦トンネル(石+煉瓦ポータル)
琵琶湖第一疏水 第一隧道(呑口)	びわこ	大津市 京都/京都市(左京区)	京都市水道局	石トンネル(石ポータル)
琵琶湖第二疏水 隧道(呑口)	びわこ	大津市 京都/京都市(左京区)	京都市水道局	(煉瓦+石ポータル)
御仏(砂防)堰堤	みほとけ	大津市	天神川支流御仏河原	巨石空積堰堤
草津川 オランダ(砂防)堰堤	くさつがわ	大津市	草津川砂防学習ゾーン	切石空積堰堤(階段状、花崗岩)
天神川 鱧(砂防)堰堤	てんじんがわ	大津市	天神川	切石空積堰堤(階段状)
(元)南篠洗堰 / (旧)瀬田川洗堰	なんぞう	大津市	瀬田川(淀川改良事業)	煉瓦堰
琵琶湖第一疏水 大津開門	びわこ・おおつ	大津市	京都市水道局	石開門, 単純・合掌戸(木→鋼)
延暦寺・坂本駅舎	えんりやくじ・さかもと	大津市	比叡山鉄道	RC建屋(延暦寺)ろく屋根、(坂本)半寄棟屋根
出島灯台	でじま	大津市		木灯明台
大戸川発電所 / (旧)牧発電所	だいがわ	大津市	関西電力<京都電燈>/大戸川	煉瓦建屋(切妻屋根)
比叡山鉄道線(坂本ケーブル)	ひえいざん(さかもと)	大津市	比叡山鉄道	交走式
栗谷港防波堤	くりたに	近江八幡市	栗谷港	石防波堤(空積)
(廃)狼川トンネル(下り線)	おおかみかわ	草津市	<湖東鉄道→東海道本線>	煉瓦斜トンネル(同ポータル)
志那開門・跡	しな	草津市	<常盤運輸開→志那自治区>/琵琶湖と柳平湖・平湖を結ぶクレーク	石開門(木扉→撤去, 石垣閉塞)
横山隧道	よこやま	長浜市	県道・大野木～志賀谷～長浜線	煉瓦トンネル(煉瓦+石ポータル)
観音坂隧道	かんのんざか	長浜市	県道・門田～長浜線	Cブロックトンネル(C+石ポータル)
旧長浜駅舎鉄道資料館 / (旧)長浜駅舎	ながはま	長浜市	<北陸本線>	木筋C建屋(切妻屋根)
高宮橋(無賃橋)	たかみや(むちん)	彦根市	県道・彦根～八日市線<犬上川>	RC桁
(廃)仏生山トンネル	むしやま	彦根市 (坂田)米原町	<東海道本線>	煉瓦トンネル(同ポータル)
鳥居本駅舎	とりいもと	彦根市	近江鉄道・彦根線	木モルタル建屋(慶折屋根)
新八日市駅舎	しんようかいち	八日市市	近江鉄道・八日市線<湖南鉄道>	木建屋(寄棟屋根, 2階建)
(旧)八日市飛行場 掩体壕	ようかいち	八日市市	<第八航空教育隊>	RC造
川合橋	かわい	(伊香)木之本町	一般道/高時川	鋼プラットラス(平行弦, 下路)
浅ヶ嶽隧道	しずがたけ	(伊香)木之本町	県道・飯浦～大音線<国道8号>	煉瓦トンネル(煉瓦+石ポータル)
土倉鉱山 選鉱場・跡	つちくら	(伊香)木之本町	<日笠鉱業開発>	RC基礎, RC水槽
高時川発電所	たかときがわ	(伊香)木之本町	関西電力<宇治川電気>/高時川	木建屋(切妻屋根)
土田揚水機場	つちだ	(犬上)多賀町	土田耕地整理組合	揚水池: 石護岸, 揚水機場: 木建屋
砂山池揚水機場	すなやまいけ	(犬上)豊郷町	<豊郷町耕地整理組合>	揚水池: 石護岸, 揚水機場: 木建屋 煉瓦基礎, 煉瓦造導水管橋脚
天神川(砂防)堰堤-無名	てんじんがわ	大津市	天神川	空積堰堤(花崗岩)

諸元	完成年	文化財等	ランク	評価情報	出典
(篠津)S(斜)2.15m, 左57度(A)、(兵田)S(斜)2.81m, 左60度(A)	明治22		C	ねじりまんぼ	小野田p328
\$4.5m(2A)	大正10		B	新逢坂山トンネルの直前の跨線橋/新逢坂山トンネルのポータルデザインと類似より装飾的	小野田p199
長29.1m, S16.36m(A)	大正3		C	開電で水路用石アーチは稀	関西中
長64.8m, 幅3.05m	明治13→廃止	鉄道記念物	A	工事担当: 国沢能長/施工: 藤田伝三郎/現存最古の鉄道トンネル=日本人のみの技術で造られた第1号, 初の山岳鉄道トンネル/明治前期(～29)最長の鉄道トンネル/冠木門タイプ=質実さの顕れ	関西中 ★/土史
長2326m, 幅3.96m	大正8		B	大正期最長の煉瓦ポータルをもつ鉄道トンネル/パラバット: 飾り積, 笠石: 上部がゴシック風	★/野田 土史10p211/滋賀p97/小見方土木p32・33
長2436m	明治23	国史跡	A	田辺朝郎/施工: 藤田伝三郎・大倉喜八郎/ポータル: 新古典風=ハーベンシュタイン・トンネル(スイス)の坑口デザインを踏襲	★/p198
長7369m	明治45		B	長大水路トンネル/ポータル: 煉瓦壁+橋状迫石	
長4.3m, 長9.6m	明治20		C	明治の空積堰堤	滋賀
長7.1m(17段, 水面上13・14段), 長34m	明治22	市指定	A	設計: 田辺義三郎/最大規模の階段状砂防堰堤/周辺の砂防公園と巧く一体化している	★/滋賀p214/見方土木p199
長6.8m(11段), 長9m	明治22		AB	設計: 田辺義三郎/二大階段状堰堤の一	★/滋賀p207
長172.2m(32門→6+1門)	明治37→廃止		A	沖野忠雄/戦前最大(ゲート数)の可動堰/も当初の32門がそのまま残っていたら超A級の遺産であった。近い将来改修工事	★/滋賀p221/探訪n102/見方土木p44
有効長12.7m, 開室幅4.9m	明治22		B	田辺朝郎/現存する2番目に古い開門	探訪n92
	昭和2	国登録	B	(延暦寺)アール・デコ風の軒の持送り, 内部の隅角部を強調したデザイン/(坂本)アール・デコ風の幾何学透かし模様の底持送り	滋賀p107
高7.8m	明治8→昭和48修復	市指定	C	ユニークな形	★/滋賀p143
最大1600kW	明治44		A	妻側に大小16個の円形開口部をもつ如何にも明治期らしい煉瓦発電所	★/滋賀p182/見方土木p64
長2025m, 高低差484m(単線)	昭和2		C	日本で最長のケーブルカー	☆
長166.6m	昭和8		B	大型の巻石防波堤	滋賀p144
長37.8m, 幅(斜)5.30m	明治33→廃止		C	現存唯一のスキューアーチのトンネル(ほとんど崩壊)/天井川=滋賀らしさ	☆/土史16p117/土史10p199/滋賀p97/小野田p328・329
長18.2m, 幅3.4m	明治38→平成12?撤去		C	一部石護岸・階段が残る	滋賀p145
長164.2m, 幅3.8m	大正12		B	ポータル: 冠木門タイプだがピラスターが笠石上に貫通(浅ヶ嶽隧道と同一デザイン)	★/滋賀p130
長320.6m, 幅5.7m	昭和8		B	ポータル: デンティル付きの笠石+下見板張風の壁面(谷坂隧道を簡素化)	★/滋賀p132
	明治15→明治35廃止→昭和58資料館	鉄道記念物	A	現存する最古(現役ではない)の駅舎/木筋C=特殊な構造(時代を物語る)	滋賀p103/駅舎p132/見方産業p176/廃線IIIp112/鉄道建築ガイド
長116.7m(10G)	昭和7		C	高欄・橋詰	★/滋賀p134
長56.4m	明治34→廃止		C		小野田滋
	昭和6		B	小屋組: 単純化されたハンマービーム/寄寄せ・玄関: 木骨風の飾り/急勾配の屋根	滋賀p115/駅舎p84
	大正2		C	車寄せ: 方柱	滋賀p115
28.1m×7.9m, 高6.55m	昭和19→廃止		C		滋賀p230
長51.3m, S25.68m(2T)	昭和5		C	設計: 岡本賢二/地方性豊かな設計(斜材のプレッシングの向きが変)	滋賀p140
長38.2m, 幅5.6m	昭和2		C	ポータル: 冠木門タイプだがピラスターが笠石上に貫通(横山隧道と同一デザイン)	★/滋賀p130
	昭和17→廃止		C	小規模	滋賀p46
最大1039kW	大正14		B	壁全面に木骨風の飾り=他に例がない	
	昭和8		C	砂山池・龍ヶ池の後発類似施設/伏流水の利用は如何にも滋賀らしい	滋賀p40
揚水量: 0.096m <sup>3</sup> /秒	明治44		A	木製矢板/屋根上に和風の換気口/軒下の白壁・腰部の黒板・基礎の赤煉瓦の対比/煉瓦=雁木, 白い積石/水管橋の煉瓦橋脚/伏流水の利用は如何にも滋賀らしい	★/滋賀p38
高7m, 長7m	大正期?		B	石組の美しい空積堰堤(見方土木p182より進めさせた空積)/下流は	



# 【 湖北の旧隧道 】

# ● 横山隧道 ●

大正 12 年竣工

煉瓦 + 石 造





横山隧道 東口





横山隧道 西口





橫山隧道 排水渠





橫山隧道 坑道





横山隧道 西口・開通記念碑



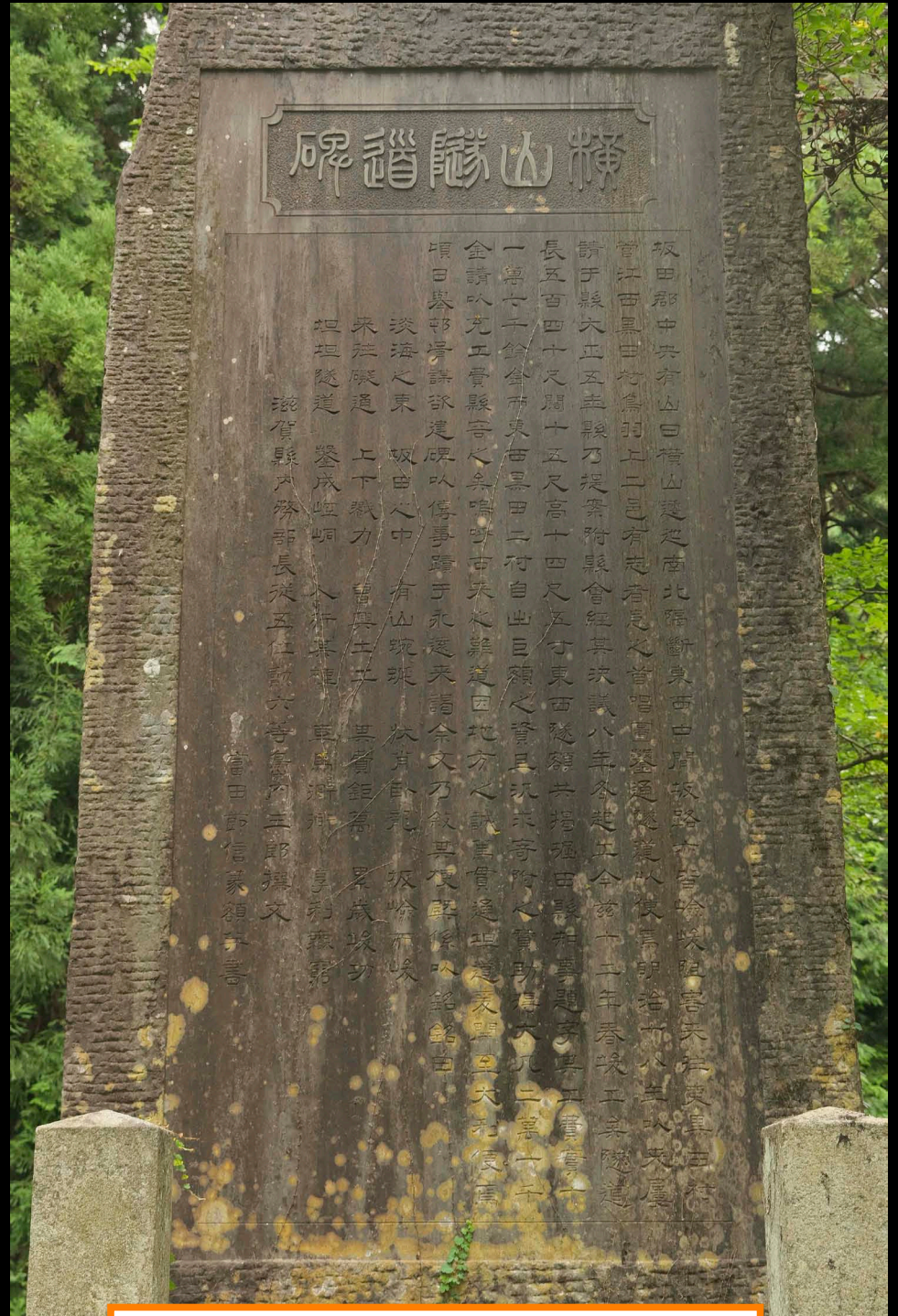


横山隧道 東口開通記念碑





西口記念碑（西黒田村）



東口記念碑（東黒田村）

横山隧道路碑

坂田郡中央有山曰横山延延南北隔斷東西中開坂路皆險峻阻害未往西黒田村  
 烏羽上東黒田村管江二邑有志者思之昔曾圖鑿隧道以便交通治十八年以東  
 請于縣大正五年縣乃提撥附縣會經其決議八年今起工今於廿五年春竣工費實十  
 長五百四十四尺闊十五尺高十四尺五寸東西隧額共增堀田縣和事起費工費實十  
 一萬七千餘金而東西黒田二村自出巨額之費且況來客附之贊助得大凡二萬一千  
 金請以充工費縣會人之賜也昔來之難道固地方之誠實實通坦道更開至大和便焉  
 頃日暴邪學謀欲建碑以傳事蹟于永遠求諸余文乃較其便無係以銘銘曰

淡海之東 坂田之中 有山宛然 狀若臥龍 坂峻而峻  
 來往險通 上下戮力 曾具土工 其費鉅焉 是歲竣功  
 坦坦隧道 鑿成峻峒 人行其捷 車馬其利 事和政窮

滋賀縣內務部長大正五任款六等賞給三郎撰文  
 富田節信篆額并書

横山隧道路碑

坂田郡中央有山曰横山延延南北隔斷東西中開坂路皆險峻阻害未往西黒田村  
 管江二邑曰烏羽上二邑有志者思之昔曾圖鑿隧道以便交通治十八年以東  
 請于縣大正五年縣乃提撥附縣會經其決議八年今起工今於廿五年春竣工費實十  
 長五百四十四尺闊十五尺高十四尺五寸東西隧額共增堀田縣和事起費工費實一  
 一萬七千餘金而東西黒田二村自出巨額之費且況來客附之贊助得大凡二萬一千  
 金請以充工費縣會人之賜也昔來之難道固地方之誠實實通坦道更開至大和便焉  
 頃日暴邪學謀欲建碑以傳事蹟于永遠求諸余文乃較其便無係以銘銘曰

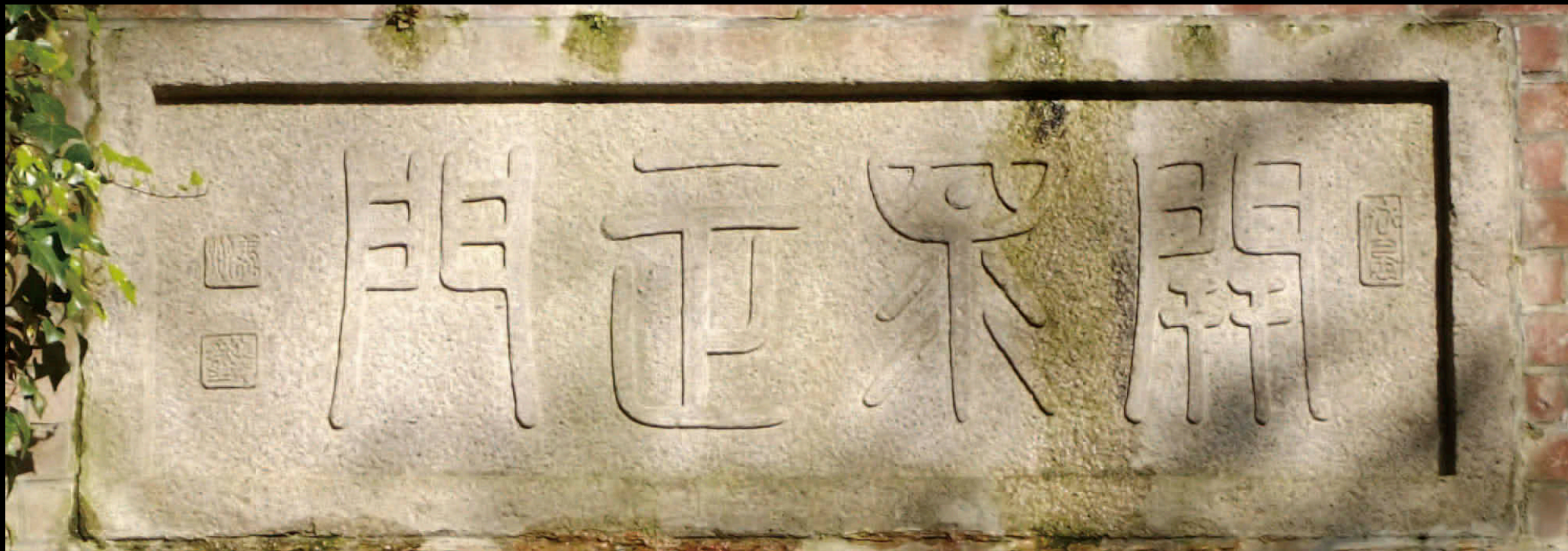
淡海之東 坂田之中 有山宛然 狀若臥龍 坂峻而峻  
 來往險通 上下戮力 曾具土工 其費鉅焉 是歲竣功  
 坦坦隧道 鑿成峻峒 人行其捷 車馬其利 事和政窮

滋賀縣內務部長大正五任款六等賞給三郎撰文  
 富田節信篆額并書

滋賀縣內務部長大正五任款六等賞給三郎撰文  
 富田節信篆額并書

滋賀縣內務部長大正五任款六等賞給三郎撰文  
 富田節信篆額并書





横山隧道 扁額 (東口・西口)





門

正

衆

開

➡ 衆正が開いた門 / 衆正に開かれたる門

= 人々によって開かれた門 / 誰でも利用できるヨ

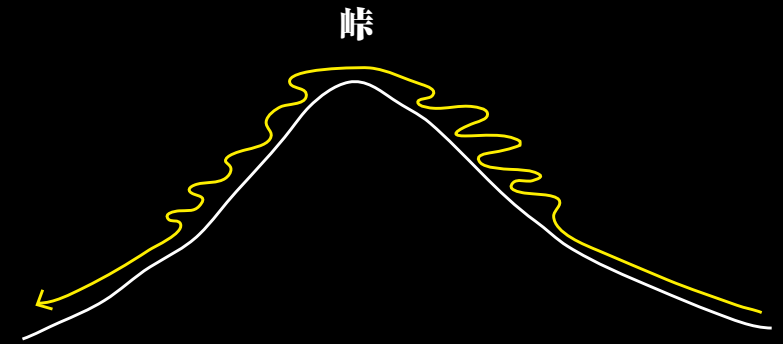
書者：第16代滋賀県知事 ほりたぎじろう 堀田義次郎



➔ 野に在りて路を<sup>ま</sup>迂ぐ

= 山野の捷路

( “隧道” = 墳墓の通路 )



書者：堀田義次郎

路

迂

野

在

杜 野 迂 路

# ● 佐和山隧道 ●

大正 13 年竣工

煉瓦 + 石 造





佐和山隧道 西口





佐和山隧道 東口





佐和山隧道 西口





佐和山隧道 扁額 (東口・西口)





門

妙

容

宮

➔ 宮容の妙門

= 宮殿のような美しい門

書者：堀田義次郎



➡ 茂を進んで遂げし路

= 困難を乗り越えて完成した道

書者：堀田義次郎

路

遂

進

茂





# ● 観音坂隧道 ●

昭和 8 年竣工  
コンクリート+石 造





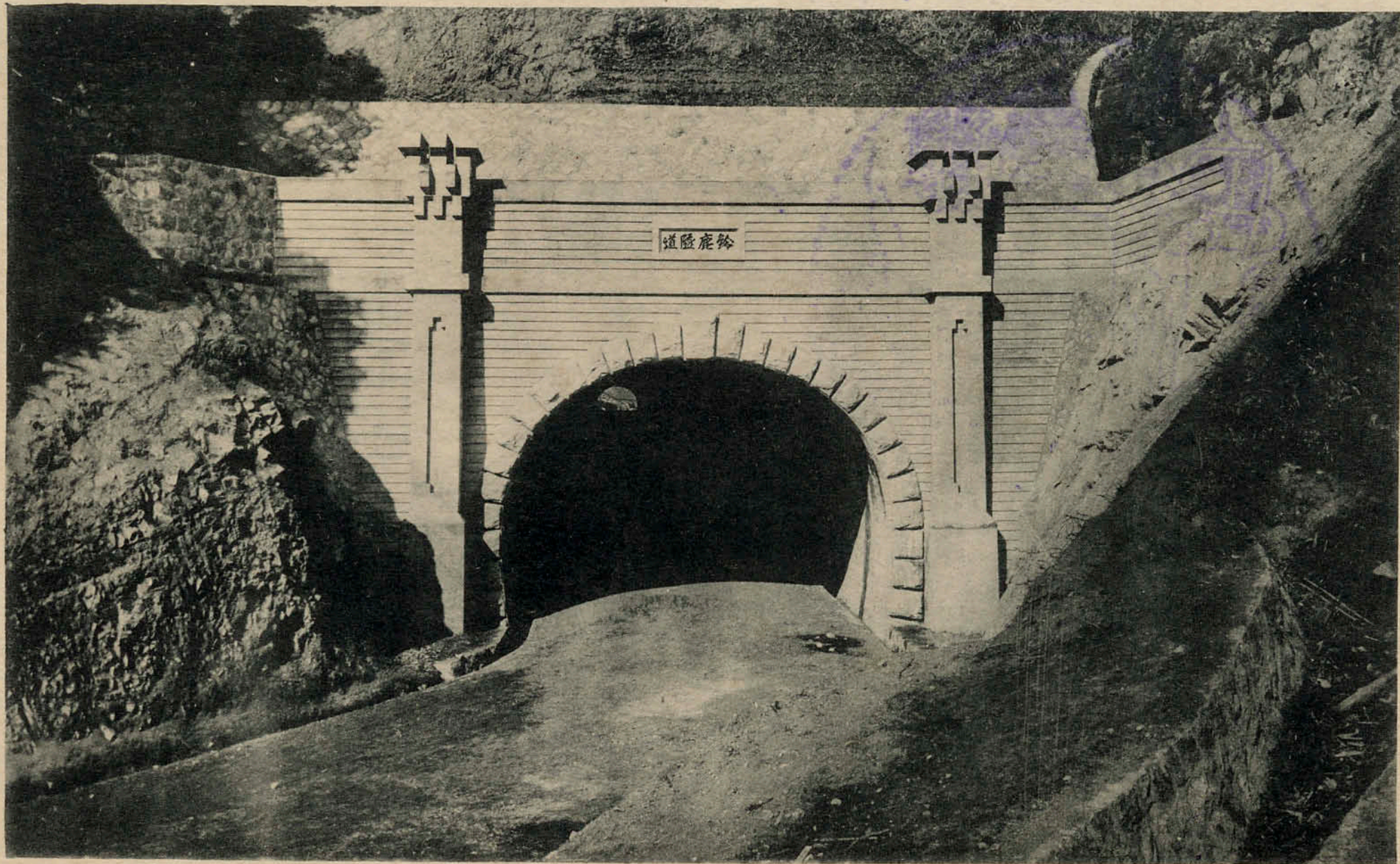
觀音坂隧道 西口





観音坂隧道 下見板張り装飾





(行發屋輪ツ三前驛山亀)

鈴 鹿 隧 道

(参考：鈴鹿隧道 大正 13 年)





觀音坂隧道 西口



# ● 谷坂隧道 ●

昭和 10 年竣工  
コンクリート+石 造





谷坂隧道 東口





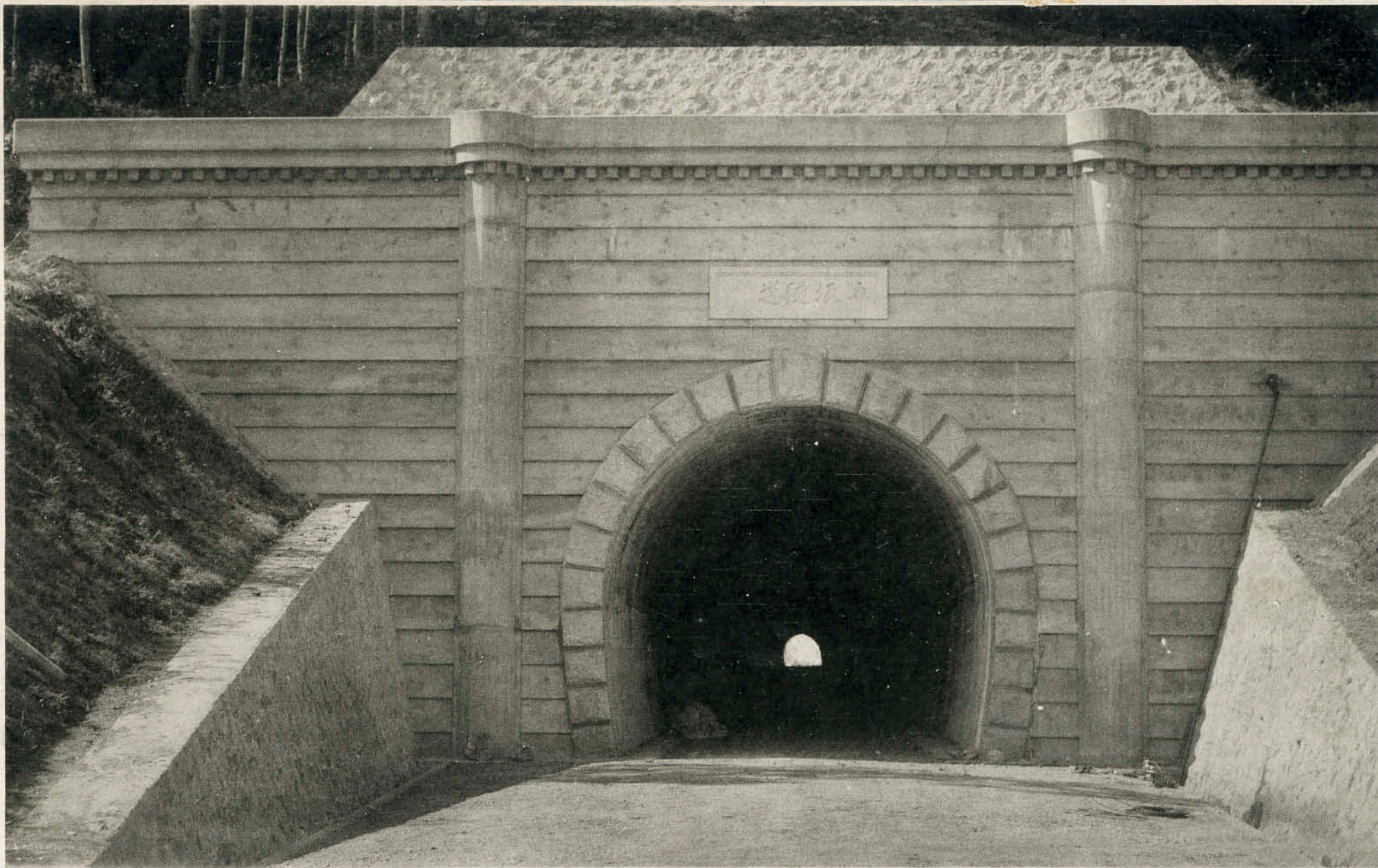
谷坂隧道 裝飾





谷坂隧道 排水系統

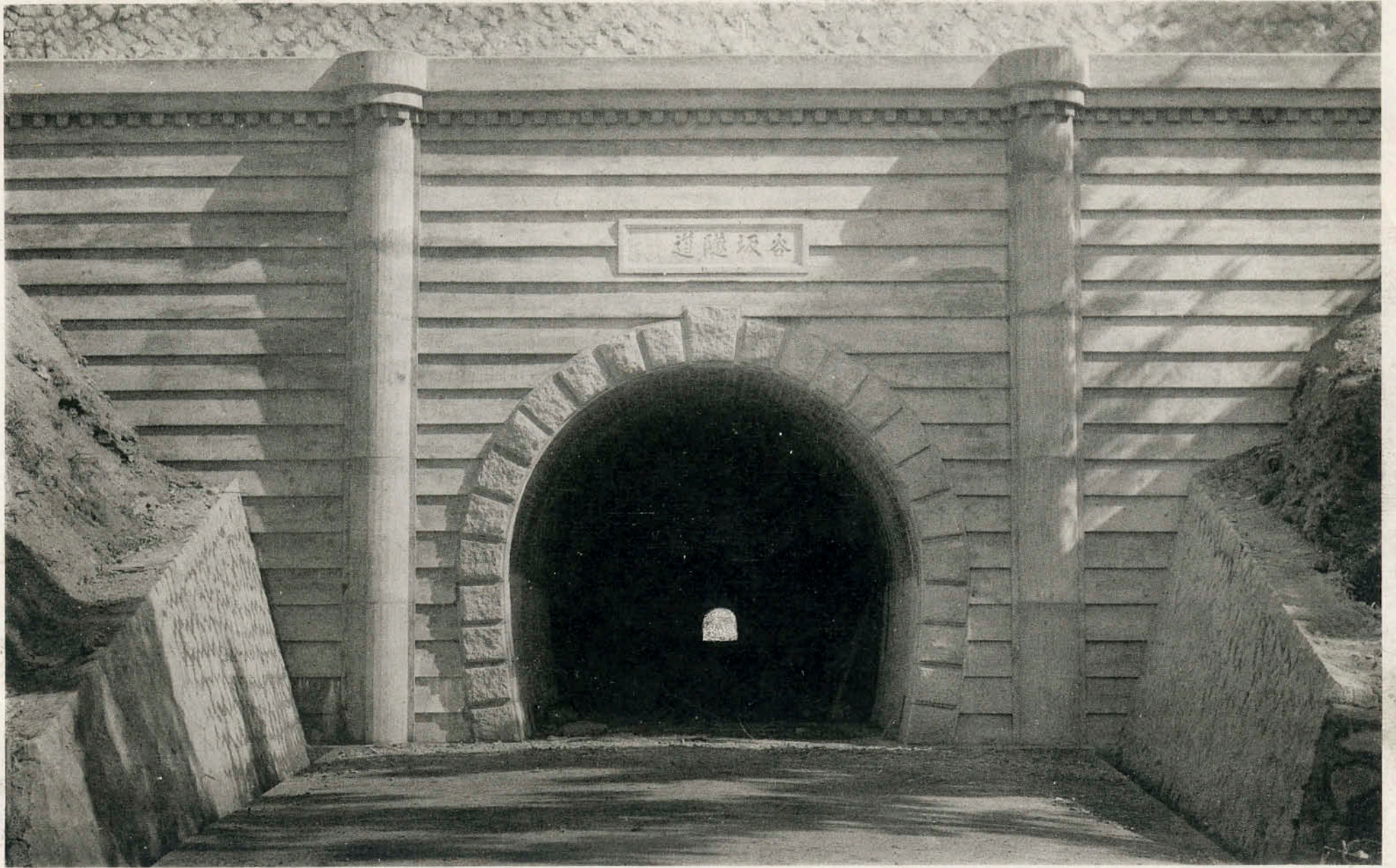




東口より西を望む

谷坂隧道絵葉書 東口





西口全景



# ● 賤ヶ岳隧道 ●

昭和 2 年竣工

煉瓦 + 石 造



## ● 県道海津木ノ本線

- ・琵琶湖北岸を東西に連絡
- ・“琵琶湖周回道路網”計画のハイライト
- ・大正9年“六六予算”成立
- ・大正10年着工、昭和11年竣工 総工費714,636円







賤ヶ岳隧道 西口







# ● 湖北隧道 ●

昭和 9 年竣工  
コンクリート+石 造





湖北隧道 西口





湖北隧道 東口





湖北隧道 東口





御通行中の皆様へ

この工事は 佐和山トンネルの漏水を防止し、円滑な交通を確保するために補修工事を行っています。

この工事は **ガソリン税** **自動車重量税** で行われています

トンネル内  
スリップ注意

トンネル内  
漏水通行注意

参考：(新) 佐和山隧道 昭和 30 年



# ● 大崎隧道 ●

昭和 11 年竣工  
コンクリート+石 造





大崎第五隧道 西口





大崎第一隧道 東口





大崎第一隧道 扁額



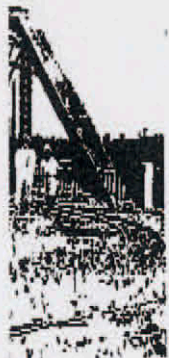
**【 村田鶴 という技術者 】**





村田鶴 肖像（上草野公民館蔵『谷坂隧道竣工記念写真帖』より引用）





### 昭和 8 年 (1933) 癸酉

- 3 . 6 県道海津木之本線道路改修工事着工。昭和9年3月31日竣功。(伊香郡永原村小山から塩津村岩熊)延長5,319.0m、巾4.5m、湖北トンネル延長163.0m(月出)、巾5.5m、構造は巻立厚き45cm・60cm・76cm、弱拱部コンクリート、工費11万9,385円うちトンネル費5万1,960円、1m当り319円(第5期分) (2)
- 4 . - 2号国道(草津瀬田町間)改良工事着工。延長4,734.0m、巾9.0m(栗木郡老上村野路から瀬田町大江)工費25万円。(19)
- 5 . 8 鉄道信楽線、實生川、信楽間営業を開始。(22)
- 6 . 19 丹那トンネル貫通。(着工以来15年2ヶ月、死者63名) (13)
- 8 . 15 県道海津木ノ本線道路改修工事着工。昭和9年6月30日竣功(伊香郡永原村大浦)。延長4,055.0m、巾5.5m、工費3万9,330円(第6期分) (2)
- 9 . - 県道川相永源寺線政策(まんみ)トンネル巻立一部改良工事着工、昭和9年3月竣功。工費3,000円、施工者 彦根市 伊藤組。
- 10 . 21 県道郷野湖北線谷坂トンネル工事着工、昭和10年3月1日竣功。延長350.0m、巾3.6m、工費50万円、構造 馬蹄型、設計者 土木技師 村田鶴。(50)
- この年 佐久良川架設、川合橋完成。工費不明、橋長120.5m、橋巾5.5m、設計荷重14t、型式T桁コンクリート。  
 県土木課セメント試験室に乳剤試験を開始。主任 藤沢高三。試験機械1万6,000円で購入。県は県道大津福井線愛知川町内に最初の乳剤舗装を施工。  
 野洲川北流架設、竹生橋完成。昭和7年12月着工。工費1万2,500円、橋長76.3m、橋巾3.65m、設計荷重9t、型式 T桁コンクリート。  
 柚川架設、柚川橋完成。千參橋完成。橋長46.6m、橋巾3.6m、設計荷重14t、型式 T桁コンクリート。



名称	着竣工	設計者
横山隧道	— 大正 13 年 (1924)	村田鶴
佐和山隧道	大正 8 年 (1919) 6 月 大正 13 年 (1924) 6 月 23 日	村田鶴
賤ヶ岳隧道	大正 10 年 (1921) 9 月 20 日※ 昭和 2 年 (1926) 11 月 30 日	—
観音坂隧道	— 昭和 7 年 (1932)	村田鶴
湖北隧道	昭和 8 年 (1933) 3 月 昭和 9 年 (1934) 3 月 31 日	—
谷坂隧道	昭和 8 年 (1933) 10 月 21 日 昭和 10 年 (1935) 3 月 1 日	村田鶴
大崎隧道	昭和 10 年 (1935) 1 月 13 日※ 昭和 11 年 (1936) 6 月 28 日※	山本広次※※

※路線の着竣工年

※※路線の設計者？



- “ 隧道の設計者 ” が判明していることは稀、  
かつ 意匠性に富む隧道を複数設計 している
- ➔ 非凡な技術者に違いない！
- 『近代土木遺産 2000 選』 で触れられていないのは惜しい  
(『滋賀県近代化遺産調査報告書』 では拾われているのに…)



## ● “近代土木遺産” の評価軸（着眼点）

- ・ 特筆すべき **技術** があるか  
（規模、先進性、進取性、挑戦 など）
- ・ **意匠** が優れているか  
（見た目の美しさ、環境との調和、技術と意匠の融合 など）
- ・ 注目に値する **系譜** をもつか  
（地域性、歴史的貢献、**設計者** など）

※参考：文化庁歴史的建造物調査委員会編『建物の見方しらべ方 近代土木遺産の保存と活用』（ぎょうせい、1998）



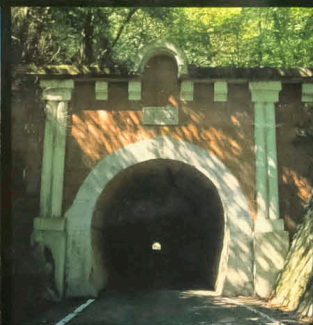


## 日本の近代土木遺産

現存する重要な土木構造物2800選  
[改訂版]

Civil Engineering Heritage in Japan

Important 2800 Structures as Monument of the Modernized Japan 1865-1945





名称	『2000 選』 評価情報	評価	『2800 選』 評価情報	評価
横山隧道	ポータル：冠木門タイプだがピラスターが笠石上に貫通（賤ヶ岳隧道と同一デザイン）	B	設計：村田鶴／ポータル：冠木門タイプだがピラスターが笠石上に貫通（賤ヶ岳隧道と同一デザイン）、4本のピラスター／東西に2つの開通記念碑が建つ	B
佐和山隧道	—	—	設計：村田鶴／ポータル：冠木門タイプ（横山隧道と違いピラスターが笠石上に貫通せず）、4本のピラスター	C
賤ヶ岳隧道	ポータル：冠木門タイプだがピラスターが笠石上に貫通（横山隧道と同一デザイン）	C	設計：村田鶴？／ポータル：冠木門タイプだがピラスターが笠石上に貫通（横山隧道と同一デザイン）、4本のピラスター	C
観音坂隧道	ポータル：デンティル付きの笠石＋下見板張風の壁面（谷坂隧道を簡素化）	B	設計：村田鶴／ポータル：デンティル付きの笠石＋下見板張風の壁面（鈴鹿隧道からの影響？）	B
湖北隧道	—	—	設計：村田鶴？／迫石の隅角部に装飾／ポータル壁面がせり出している→せり出し部が上に行くほど外側に出て、かつ、角が丸くなっておいてドイツ表現主義を強く感じさせる（トンネルとして恐らく国内唯一）／ポータル全面に水平の縞模様	A
谷坂隧道	東の笹子隧道（山梨）と並び最も本格的な古典様式のポータル（ピラスター：半円断面、笠石：細かいデンティル）＝観音坂隧道を本格化したような形／ポータル全面に下見板張り風模様	A	設計：村田鶴／東の笹子隧道（山梨）と並び最も本格的な古典様式のポータル（ピラスター：半円断面、笠石：細かいデンティル）＝観音坂隧道を本格化したような形／ポータル全面に下見板張り風模様	A



“ 村田鶴とは

どんな人だったのだろうか。”



履 歷 書

茨城縣補敷郡十番島村結佐三百八拾六番地  
平民農長右郎二男

村 田 鶴  
明治三十七年七月一日

一明治三十二年四月結佐果常小學校入學至三十二年三月卒業同年四月本校補習科入學至三十三年三月卒業

一明治三十三年四月結佐時習學校入塾至三十四年八月止漢教習三課修學

一明治三十五年一月東京明治教學校入學至三十六年三月業豫備科中學三年程度卒業

一明治三十六年二月東京工手學校豫科第一期入學同年九月豫科第二期進級

至三十七年二月止不學科第一期進級同年九月土木科第一期進級

在學中之處現改吉武服務為×今年十月退學

手 五

一明治三十七年十一月一日近衛步兵第一聯隊補充大隊増設第二中隊入營至

三十八年九月十七日等卒至三十九年十月三日上等兵至四十年十月二十六日滿期除隊

一明治四十一年二月工手學校土木學科第二期復校同年九月第三期進級

一明治四十二年二月本校土木學科卒業

賞

一明治三十九年四月日明治三十七年戰功功依叙勳八等白色桐葉章金貳百圓

下賜

四十七

友之通、相違要之候也

明治四十二年十一月二十九日

村 田 鶴  
村 田 鶴



# ● 村田鶴年表

1/4

年月	年齢	出来事
明治 17 年 (1884) 7 月 1 日	0	茨城県稲敷郡十余島村結佐に生まれる (農家次男)
明治 22 年 4 月	4	結佐尋常小学校入学
明治 26 年 3 月	8	同上 卒業
同年 4 月		同上 補修科入学
明治 30 年 3 月	12	同上 卒業
同年 4 月		結佐特習学舎入塾 漢・数・習の三課を修学
明治 33 年 8 月	16	同上 卒業
明治 35 年 1 月	17	東京 明治数学校 (後の明治工学校) 入学
明治 36 年 1 月	18	同上 工業予備科中学三年程度卒業
明治 36 年 2 月		東京 工手学校 入学





十余島村結佐

香取

村田鶴出身地



## ● “工手学校”とは

- ・ 即戦力となる技術者を育成
- ・ 夜学、半年を一学期として三学期制

### 〔土木科本科 カリキュラム（コマ数）〕

#### 第一期

数学3、物理2、力学2、測量法2、実測3、製図4

#### 第二期

測量法2、実測6、材料強弱2、水理2、施工法2、道路・隧道1、製図8

#### 第三期

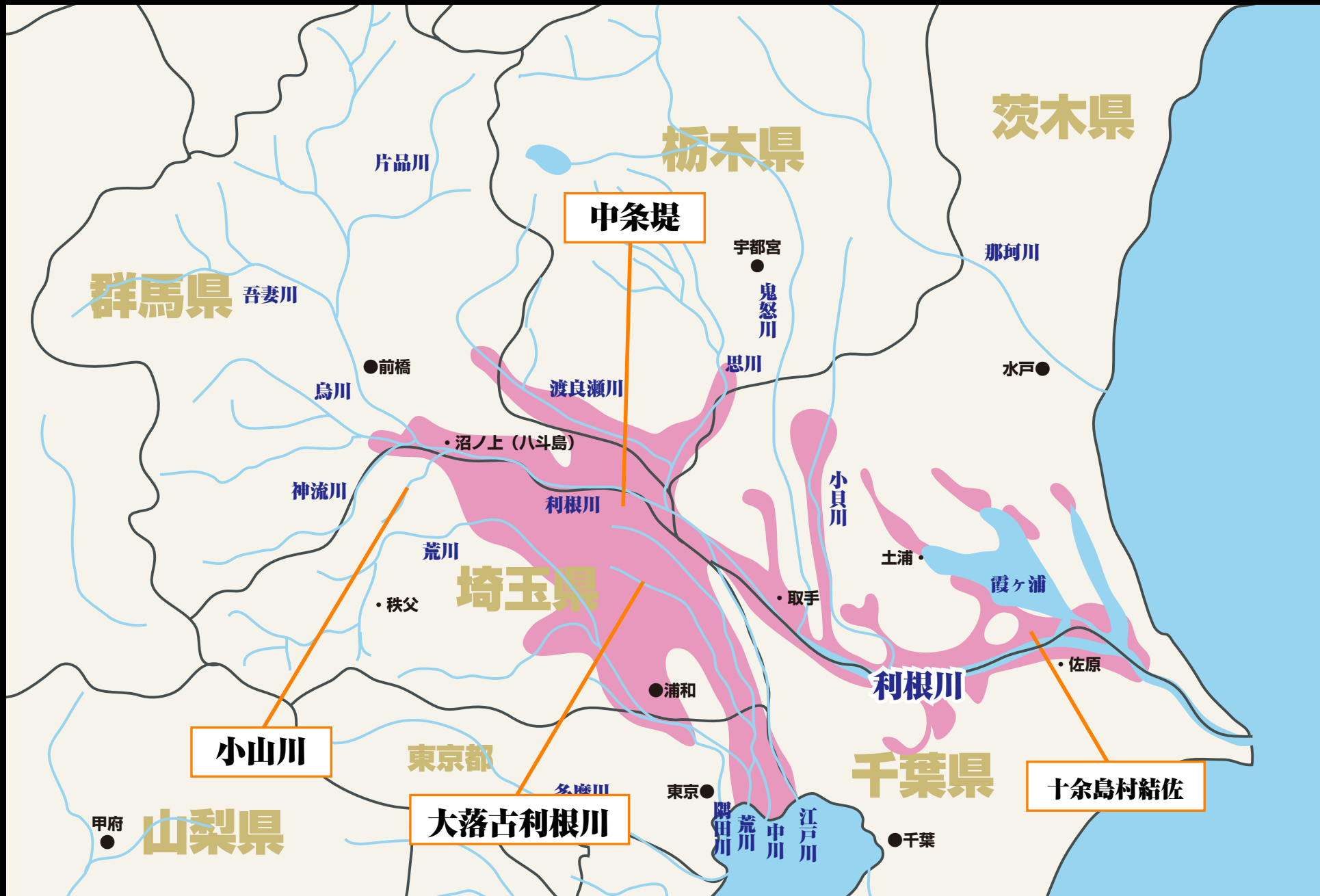
測量法1、実測6、橋梁2、河工2、海工1、鉄道2、衛生工学1、製図8

（『工手学校一覧』明治41年版）



明治 37 年 11 月	20	日露戦争戦役 のため休学
明治 37 年 12 月		近衛歩兵第一連隊補充大隊増設第二中隊入営
明治 40 年 11 月	23	同上 満期除隊 (明治 39 勲八等白色桐葉章受章)
明治 41 年 2 月	23	東京工手学校土木学科第二期 復学
同年 4 月		同上 第三期進学
明治 42 年 2 月	24	同上 卒業
明治 42 年 12 月	25	埼玉県内務部土木雇 拝命 松戸工区員出張所勤務 大落古利根川改修工営所勤務
明治 43 年 8 月	26	埼玉県土木技手 拝命 中条工場勤務
明治 44 年 6 月		川越工区員出張所勤務
大正 4 年 3 月	30	熊谷工区員出張所勤務
大正 5 年 11 月	32	忍工区員出張所勤務
大正 7 年 1 月	33	小山川改修工営所勤務

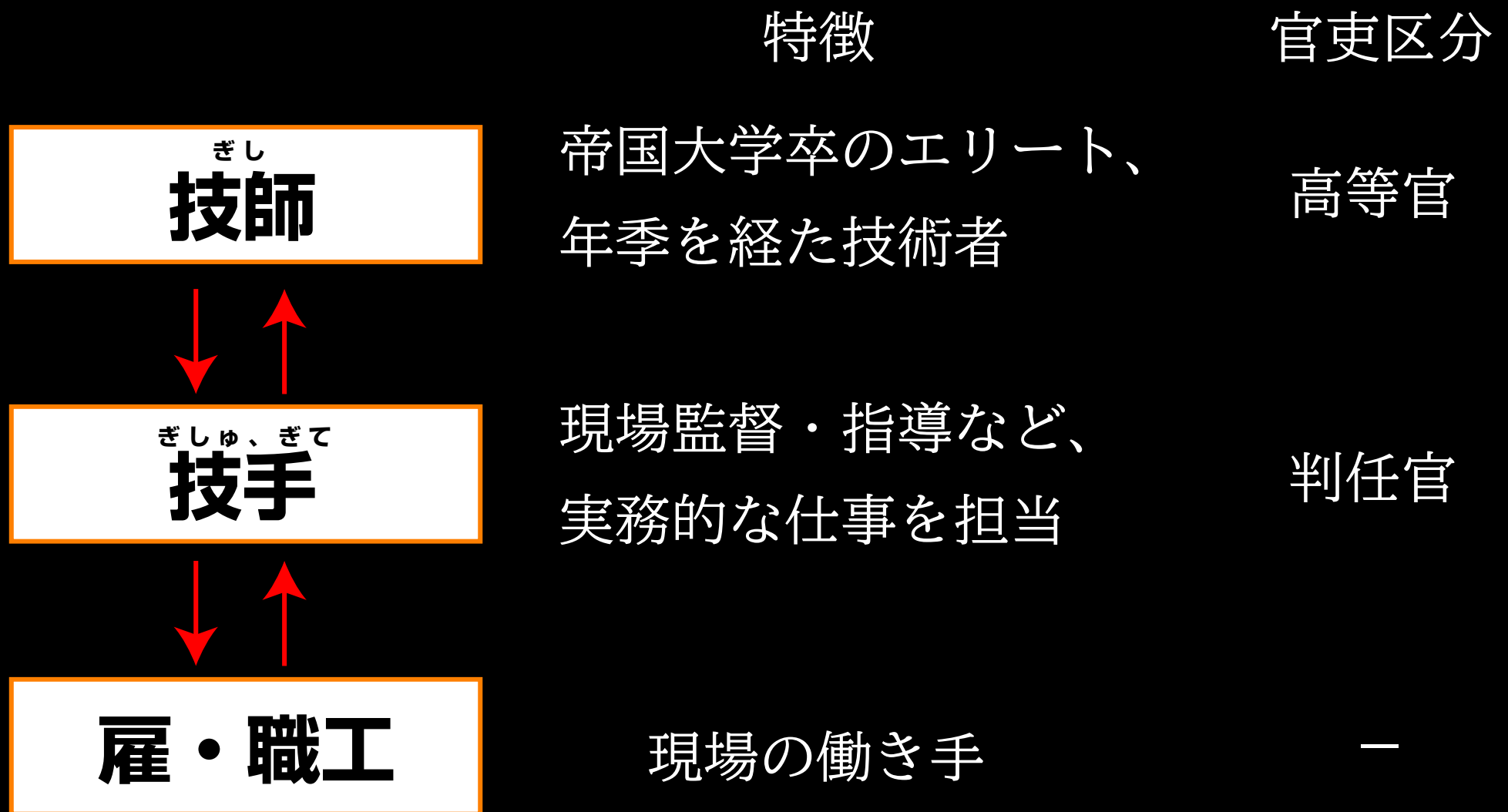




… 明治43年水害の被災地

村田鶴生家と埼玉県時代の勤務地







大正 7 年 5 月		埼玉県土木技手 依願退職
大正 7 年 5 月		大阪府内務部土木技手 拝命 同土木課江之子島出張所勤務
大正 7 年 6 月		水防委員拝命
大正 7 年 8 月	34	三島郡味舌村直営工場主任 拝命
大正 7 年 9 月		同上 依願退職
大正 7 年 10 月		滋賀県内務部土木技手 隧道工営所主任 拝命
		(横山隧道・佐和山隧道の建設に従事 瀬田唐橋の架換も?)
昭和 6 年 2 月	46	滋賀県土木技師兼道路技師 拝命 内務部土木課勤務 (判任官から高等官待遇へ)
		(観音坂隧道、谷坂隧道、福橋、寿橋の建設に従事)
昭和 11 年 1 月	51	同上 依願退職 (最終勲位 正七位勲六等 十給俸)







# 淀川平面圖

江ノ子島出張所

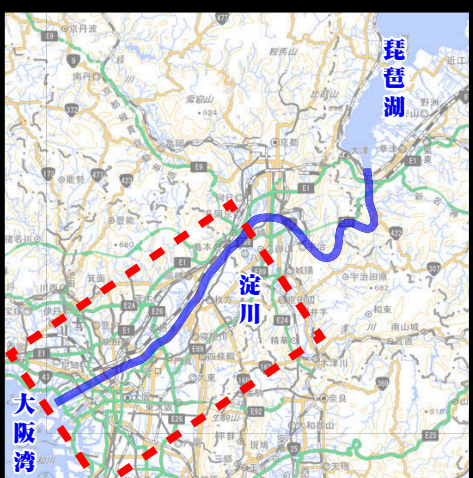
味舌村

大塚  
(堤防決壊箇所)

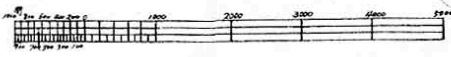
高槻

大阪

枚方



縮尺 五拾万分之一



大正6年“大塚切れ”と村田鶴勤務地



橋唐之田瀬江近

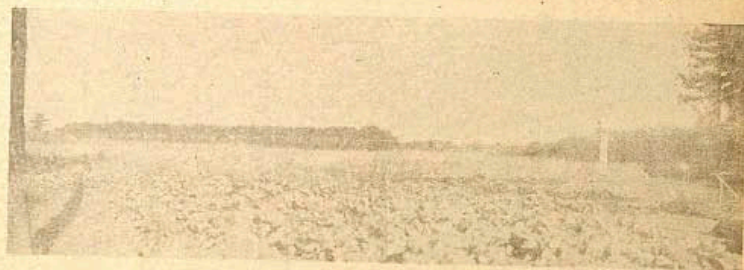


瀬田の唐橋 (大正 13 年架換)



昭和 11 年?		千葉県土木課長 拝命
～		(千葉県都市計画事業の実施、千葉県営霊園〔現・桜木霊園〕の設置、東京大学第二工学部〔現・千葉大学〕誘致と用地造成、海岸埋立による工業用地造成事業)
昭和 20 年		千葉県土木課長 退職
昭和 24 年 11 月	65	千葉倉庫株式会社設立 専務取締役就任
昭和 35 年 6 月	75	同上 二代目社長就任
昭和 51 年 3 月	91	同上 会長就任
昭和 54 年 1 月	94	逝去





# 千葉市営墓地に就て

村田 鶴

千葉市は東京市の東南約三〇軒、東京灣に面し、電車で約五十分にて達し得る地にある人口九萬を擁する房総の首都である。古者は千葉氏の居城として殿廟を築き一時衰へた地であるが、現在は軍部の名を以て著名であり又政治、教育、交通の要衝として更に又交通機關の發達に伴ひ帝都の衛星都市として發達の途上にある都市である。

斯く時代の進展に伴つて都市施設整備の要は益々急を俟たないところであるが、就中本市

に於ては、既に墓地が散在して居り、而も其れ等は概ね整理を告げ、新設の墓地は他に求めなくてはならない現状にある。而して其等の位置は市の繁華街に近きため都市發展の趣向に鑑み、之等墓地の整理の要を認められるもの切なるものがある。この時に當り、此等墓地を整理して死者安堵の地を定め、市勢の進展に資することは緊急を要することである。故に種々調査の結果、此處に新たに墓地事業を起し市民の要求に備へて近代都市としての面目を一掃することに決し、市の東部、市相地を離るること二軒、經道千葉佐原線に接する散在に設けられた丘麓地に面積約四萬坪の敷地を求めて本年より工事に着手することになつたのである。

## 計畫の概要

一、墓地所要面積の推定  
墓地を計畫するに當り一應どの位の面積があれば將來其の需要を充たし得るかと云ふ見當をつける爲に次の如き調査に基き大體の數

を算出することにした。即ち

市内敷地の現況

區有一五、共有八、寺院有二、個人有二

計五六ヶ所、面積約一萬二千坪

この中五ヶ所を要するもの一二

ヶ所、面積約四千坪あり

一、墓地當り使用坪數約三坪

人口増加率 三、二%

死亡率 千人中二〇人

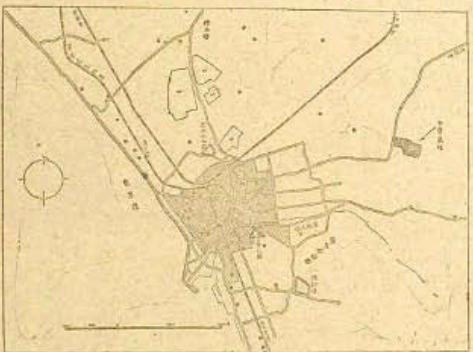
墓地新設率 死亡數の約七%

之等の數字から三十年後に改葬並新設せられる墓地數六千ヶを算出することが出来、更に一、墓地當りの單位面積を二坪として道路、植樹地等の全面積の三分の二を要するものとして所要面積約三萬六千坪を得て、之を基礎として新しい敷地を求めることとしたのである。

二、設計の方針

新設墓地の附近一帯は松樹多き丘陵地なるを以て地形及現況を尊重して有効な地帯をなすやうに整を注意、庭園式墓地とすることにしたのであるが、設計に當り特に苦心を施つた點は世人一般の習慣

千葉市現況の地形圖



次に其の設計の内容を部分的に簡単に説明すると、正門は市の中心に向つて立つやうにし、道路は中央に通ずる幹線を以て他は凡て幅員三米乃至四米の歩道として苑内の静寂な意圖

三、設計の内容  
斯くして設計した墓樹の地割は次の如くである。即ち

- 墓地總面積 約三八、〇〇〇坪
- 墓地面積 約二、〇〇〇坪
- 道路及遊歩面積 約二二、〇〇〇坪
- 植樹地面積 約一四、〇〇〇坪
- 他に火葬場關係用地 約二、〇〇〇坪

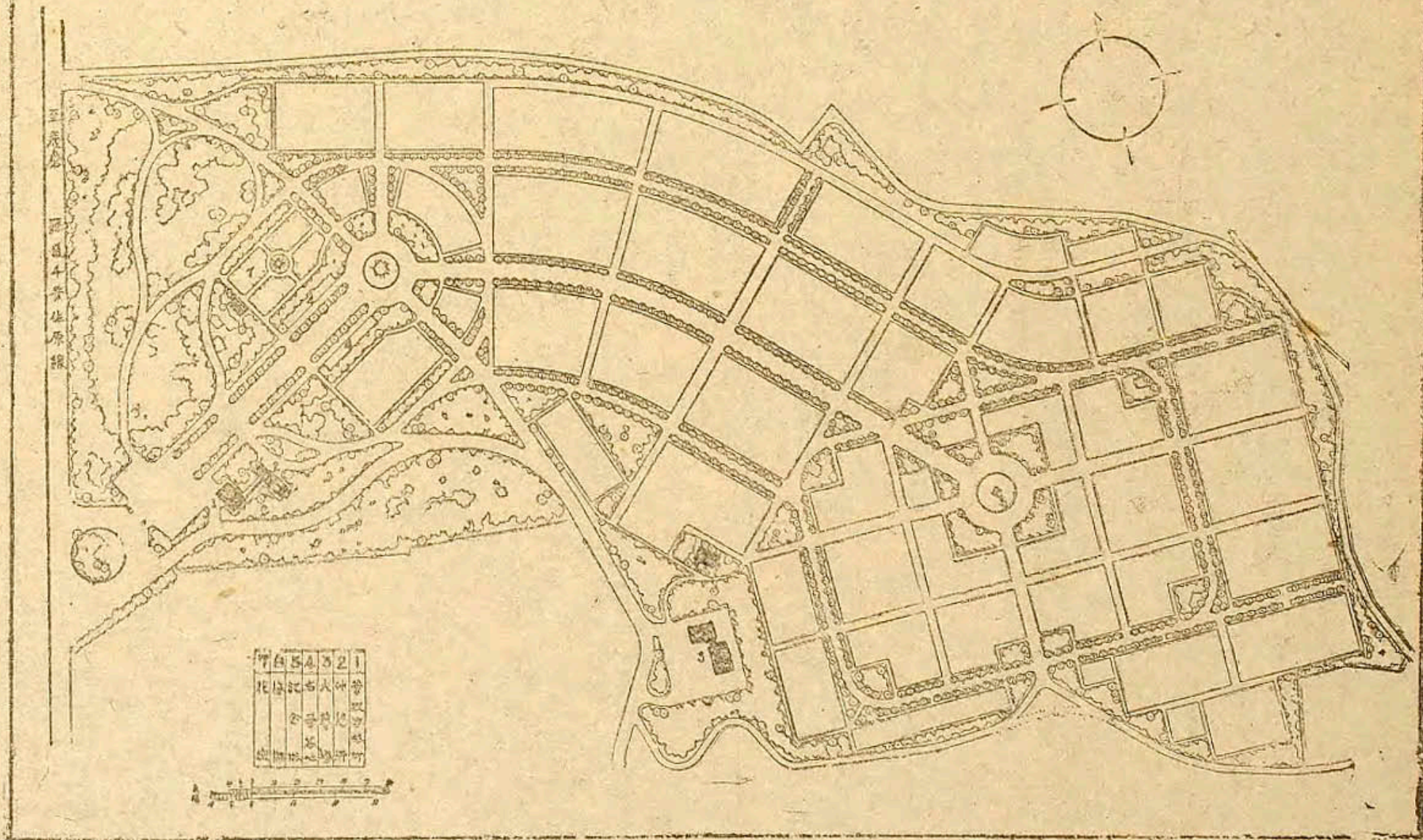


## ● 要旨

- ・ 軍都として、帝都の衛星都市として発展途上にある千葉市
- ・ 市内に墓地が散在、かつ狭隘になっている
  - ➡ 市東部の約 4 万坪の敷地に集約（昭和 13 年着工）
- ・ 「新設墓地の附近一帯は松柏多き丘陵地なるを以て地形及現況を尊重して有効な地割をなすように意を注ぎ、庭園式墓地とすることにした」  
従来の墓地は画一的な作りが多く、墓参者が道に迷うことが多かったので、「或は記念塔を設け或は道路の広狭により、又は広場の配置により」変化をつけた



千葉市營靈園設計平面圖



千葉市營靈園設計平面圖 (日本公園緑地協会「公園緑地」第2巻第12号(昭和13) 国立国会図書館デジタルコレクションより引用)





村田家墓地



## ● 村田鶴の人となり

- ・ 滋賀県時代のあだ名 「<sup>警 察 官</sup>ポリスマン」
- ・ 「その性、清廉直情、頑固一徹、明治の固まりで、言い出したら絶対に引かぬ（略）、一面非常に情愛の深い方でもあった。」（『千葉倉庫 50 年のあゆみ』）
- ・ 常に黒の背広を着、一台の自転車を大事に乗り回す
- ・ 「特に美術に関心があったようではない。ただ仏像を収集していて、家には常に仏像が飾られていた。」  
（比叡山延暦寺に帰依 戒名：鶴林院叡岳道法大居士）



jsce.or.jp/contents/isan/files/2021\_21.shtml

土木学会 令和3年度選奨土木遺産

兵庫県県道 リーボネタ OCNメール ふいにしめ 旧道倶楽部 旧道倶楽部(追記) サイズ M25時点 東海道...

土木学会選奨土木遺産

[トップページに戻る](#)

[<< prev.](#) [一覧リストに戻る](#) [next >>](#)

**村田 鶴が湖北地方に残した隧道群**  
むらたかかくがこほくちほうにのこしたずいどうぐん

横山隧道：滋賀県米原市～長浜市  
谷坂隧道：滋賀県長浜市



村田 鶴が湖北地方に残した隧道群は、材料特性から煉瓦とコンクリートを使い分ける秀逸な設計が施され、格式高い意匠とともに永年にわたり地域交通に貢献した土木遺産です。

竣工年：横山隧道：1923（大正12）年  
谷坂隧道：1935（昭和10）年

令和3年度選奨土木遺産

[<< prev.](#) [一覧リストに戻る](#) [next >>](#)

いいね！ 0 ツイート

© Japan Society of Civil Engineers

令和3年度 選奨土木遺産 村田 鶴が湖北地方に残した隧道群



**【 横山隧道ができるまで 】**



# ● 横山隧道関連年表（竣工まで）

(1/4)

年月	出来事	出典
明治 20 年 (1887) 4 月 15 日	県、県道表告示 → 朝鮮人街道が県道に	1
明治 28 年	県、地方税土木工費支弁規則を制定 → 黒田道が地方税支弁里道に	2
明治 31 年～	高森慶多郎、北村幾太郎ら、横山隧道建設を提唱	7
大正 2 年 (1913) 2 月 20 日	第 1 次山本権兵衛内閣 成立（立憲政友会との連携内閣）	
同上 6 月 1 日	滋賀県内務部長 添田敬一郎 離滋 → 第 15 代埼玉県知事	3
大正 4 年 3 月 11 日	埼玉県内務部土木課長 山田博愛 <sup>ひろよし</sup> 来滋 → 滋賀県内務部土木課長 (以降、埼玉県からの技手移動が相次ぐ)	4



## ● 明治末～大正期の国政・県政の背景

- ・ 明治期 = “藩閥政治” (維新の立役者・雄藩が中心となる政治)
- ・ 大正期 = “政党政治” (民衆が選んだ代表者による政治)



“ 立憲政友会 VS 立憲改進黨 (立憲同志会) ”



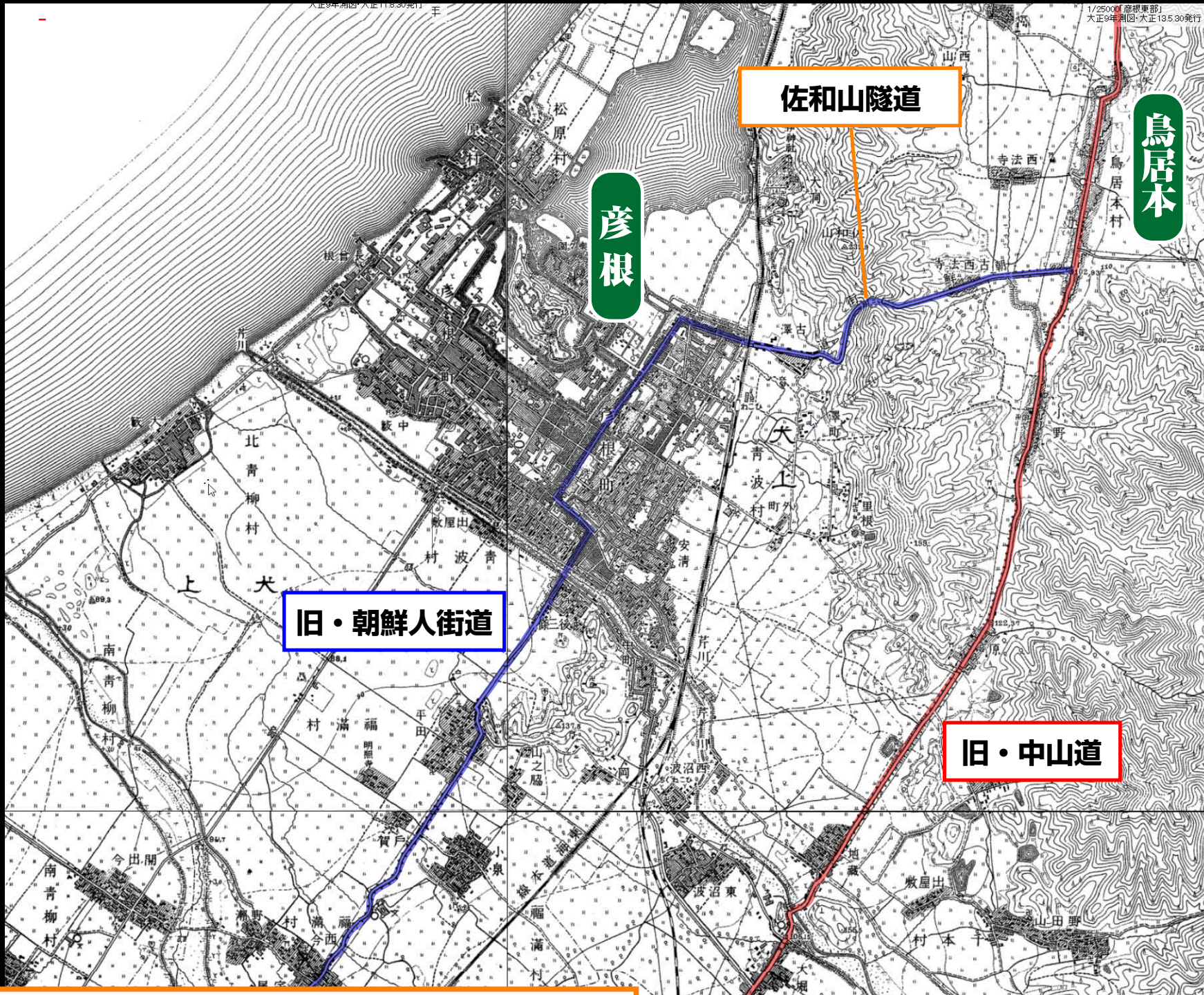
- ・ **政友会** = 「公益を目的として行動」することを標榜

**道路改修や鉄道建設、公共施設の拡充**といった  
**積極政策** で 国を豊かにする

- ・ 滋賀県では**政友会**が最大勢力

**井上敬之助**：政友会滋賀県支部長、滋賀県議会議長、政友会  
本部総務など歴任





彦根

鳥居本

佐和山隧道

旧・朝鮮人街道

旧・中山道

佐和山隧道の位置 (大正9年測図 1:25,000 地形図「彦根東部」「彦根西部」「高宮」「能登川」／「今昔マップ3」より引用・加工)



# 内務省

大阪府庁

知事

京都府庁

知事

滋賀県庁

知事

三重県庁

知事

愛知県庁

知事

警察部

内務部

内務部長

知事官房

森林課

会計課

土木課

地方課

教育課

勸業課

土木課長 (技師)

技師

技手

↑ 高等官 (内務大臣が任免)

↓ 判任官 (府県知事が任免)







# 埼玉県

# 滋賀県

# (その他)



大正期における滋賀県⇔埼玉県の官吏の異動



## ● 埼玉県→滋賀県 技術者移動の背景（推測）

- ・ 道路行政の立ち遅れを挽回？
- ・ 治山・治水の実務経験がある者を必要とした？
  - ➔ 埼玉県に移った 添田敬一郎（元・内務部長）をツテに、有能な技術者を紹介してもらう
    - ➔ 内務技師・山田博愛 が来滋
      - ➔ 山田のもとで働いていた技手たちが、彼を慕って  
or 山田が腹心の部下を招いて 来滋



「(道路改修費を決めるのに 明治 15 年～ 20 年の実績に基づき数字を使い続けている、) 今日約三〇年前の標準をもって、県下の土木事業の決定としている現状はきわめて問題である」

(大正 5 年通常県会 歳出經常部土木費第一読会 五番 西島孫吉議員質問)  
(『滋賀県議会史 第三卷』 p.442)



大正4年 4月16日	第2次大隈重信内閣 成立 (立憲同志会連携内閣)	
同上 4月28日	千葉県知事 池松時和 来滋 → 第14代 滋賀県知事 (政友会系)	5
同上 7月1日	三重県事務官 堀田義次郎 来滋 → 滋賀県内務部長	6
大正5年 11月	県会で朝鮮人街道 (佐和山隧道)、黒田道 (横山隧道) 改修予算が可決 朝鮮人街道 : 大正6~8年 3ヶ年継続事業 黒田道 : 大正6~9年 4ヶ年継続事業	7
大正6年 1月29日	滋賀県内務部長 堀田義次郎 離滋 → 愛知県内務部長	8
同上 2月	陸軍特別大演習 開催内定 (於彦根)	9
同上 7月24日	埼玉県北足立郡技手 遠山貞吉 来滋 → 隧道工営所 主任	10
同上 10月	中山道 家棟隧道 竣工	
同上 11月13~16日	陸軍特別大演習 実施	9



## ● 佐和山・横山隧道改修決定のいきさつ

- ・東西黒田村民は明治 31 年以來盛んに改修を陳情。  
「殊に吾が党の高森慶多郎、北村幾太郎」両氏が不屈の運動を続けた
- ・大正 5 年、佐和山隧道工事に対し寺村庄三郎（彦根出身の実業家）が  
一萬円の寄付を申し出たことで実施が内定※
- ・東西黒田村民もこれに刺激を受けて寄付金を集め、再陳情→内定

（『立憲政友会滋賀県支部党誌』 pp.256-257）

※『彦根町政秘史』（昭和 2）では工事決定・地元負担額も確定した時点で寄付があったとする



## ● 大正5年 予算可決時の隧道計画

- ・ 朝鮮人街道（佐和山隧道）

隧道長 90 間 うち 45 間煉瓦巻

道路長 905 間

幅 10 尺

- ・ 黒田道（横山隧道）

隧道長 80 間 うち 60 間煉瓦巻

道路長 965 間

幅（？）

（『大正五年通常滋賀県会会議録 第十二号』 15-16 丁 山田博愛技師答弁より）



「第十六疑の県吏員費（略）来年度にて継続事業として計画して居る、<sup>(ママ)</sup>墜道工事の事業が二つもありますから現在の技術者を以て監督に当たらしむると云うことは<sup>とて</sup>迎も出来ぬのであります、<sup>それ</sup>夫で五十円の人を雇いそうして両方懸け持をして監督をさせようと云う為めに一人を増す（略）」

（『大正五年通常滋賀県会会議録 第一号』 15-16 丁 池松時和知事予算説明）



○二十六番（丸橋茂平 議員）質問

- ・ 隧道工事監督は、今いる土木吏員では務まらないのか？
- ・ 近頃課長が更迭する毎に土木吏員の移動が生じている。（経験・知識の蓄積が無駄になり）問題なのではないか。

○参与二番（内務部長 堀田義次郎）答弁

- ・ 隧道工事の経験者はいるが、上級の監督の地位にいるため現場に詰めていることができない。
- ・ 技術は日々進歩しているので、相応しい人と「差替へ」となると自然、古い人から替えていくことになる。「唯普通ノ異動デアリマス、別段変ツタ考ヘデ異動ヲ行ナフタノデハアリマセヌ」

（『大正五年通常滋賀県会会議録 第十三号』 11-12 丁 歳出經常部第十六款県吏員費）



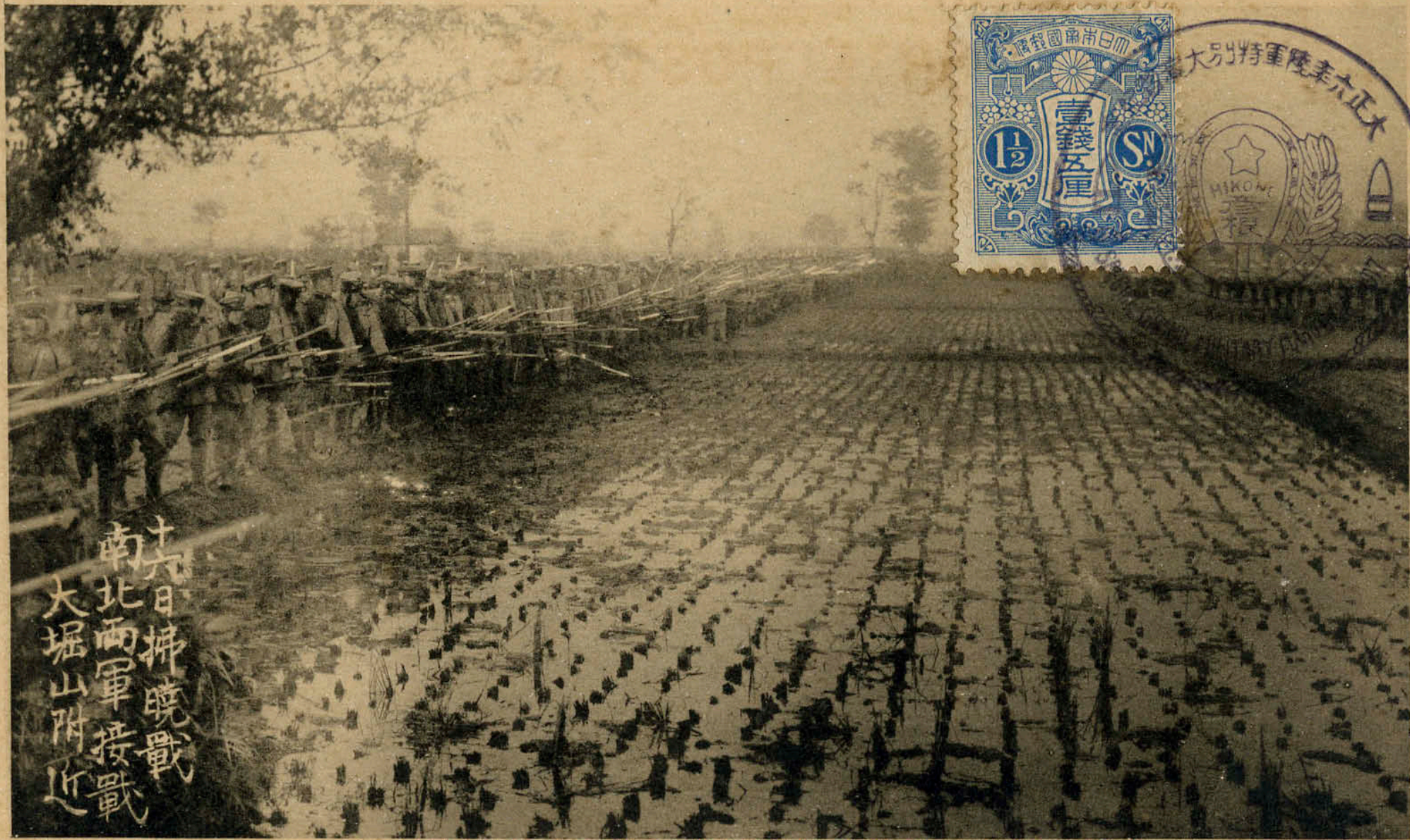






**畑隧道（埼玉県飯能市／明治 42 年竣工／監督：遠山貞吉）**





十六日拂曉戰  
南北兩軍接戰  
大堀山附近

行印影攝所版製真寫越演屋古名

況實習演大別特軍陸近附根彥於月一十年六正大

大正六年陸軍大演習 大堀山附近



## ● 陸軍特別大演習

- ・ 年一度、**天皇の臨席**のもと行われた軍事演習
- ・ 大正6年度は彦根～野洲付近で実施（大本営：彦根中学校）
- ・ 11月14日 彦根駅→野洲駅、野洲駅から中山道を通り鏡山御野立所へ 統監ののち野洲駅→彦根駅→大本営

※大演習のために道の改修をすることは禁じられていたが……12万円強の予算を計上して沿道を整備

（参考：『大正六年陸軍特別大演習滋賀県記録』）







家棟隧道 (大正6年10月竣工)





解体中の家棟隧道（平成18年9月）



大正6年12月17日	森正隆 来滋 → 第15代滋賀県知事（政友会系）	11
～	第一次大戦の影響による物価高騰 → 横山・佐和山隧道の着工延期	7
大正7年1月1日	隧道工営所 主任 犬上郡・坂田郡に常駐	12
同上 9月20日	原敬内閣 成立（政党政治の確立）	
同上 10月15日	村田鶴 来滋 → 隧道工営所 主任	13
大正8年4月10日	道路法 公布	16
同上 4月18日	愛知県内務部長 堀田義次郎 再来滋 → 第16代滋賀県知事（政友会傀儡県政）	14
同上 7月2日	朝鮮人街道・黒田道 工事請負入札 （朝鮮人街道：大正10年2月末日 黒田道：大正11年2月末日 竣工予定）	15



大正 8 年 8 月	佐和山隧道 着工	7
同上 11 月	横山隧道 着工	7
同上 12 月 6 日	道路構造令 公布 国道の幅員 : 4 間 (7.2 m) 以上 <sup>※1</sup> 府県道の幅員 : 3 間 (5.4 m) 以上 <sup>※2</sup> 郡道・町村道の幅員 : 2 間 (3.6 m) 以上 <sup>※2</sup> ※1 山地其他特殊の箇所に関り 1 間以内縮小可 ※2 山地其他特殊の箇所に関り 3 尺以内縮小可	17
～	両隧道 設計変更 (幅員増、素掘り→煉瓦巻立)	
大正 9 年 4 月 1 日	道路法 施行	18
同上 5 月	府県道長浜大垣線 (横山隧道) 認定	19
大正 12 年 5 月	横山隧道 竣工 (総工費 117,860 円、幅員 4.5 m) 工費中 2 万円余りは地元寄付	7, 20
大正 13 年 6 月	佐和山隧道 竣工 (総工費 130,756 円、幅員 4.5 m)	7
同上 6 月 18 日	仏生寺彦根線 (佐和山隧道) 認定	19

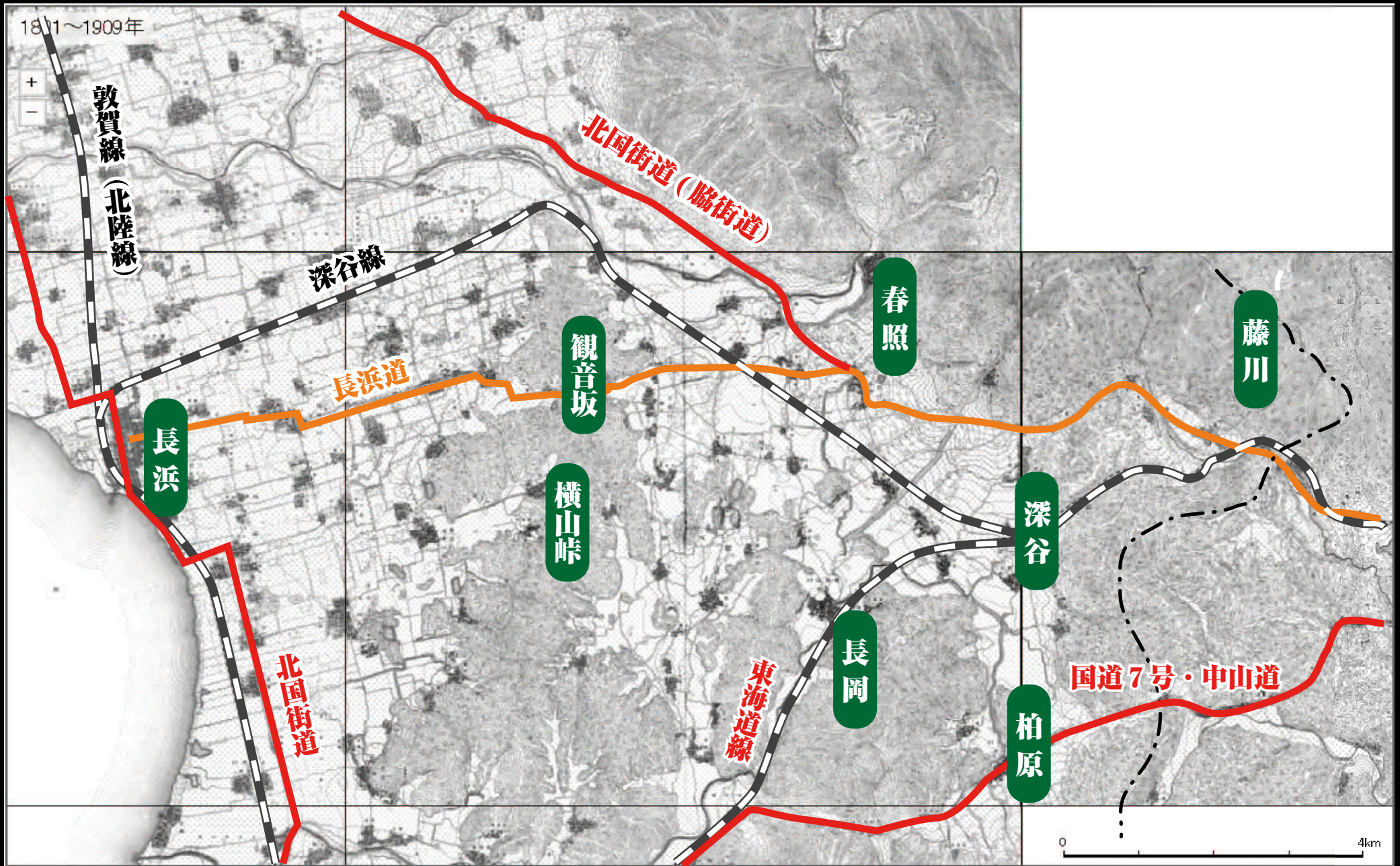


高月停車場 揖斐線	伊香郡南富永村 高月停車場	縣界伊香郡杉野村	伊香郡北富永村、高時村
金屋市 八日市線	犬上郡東甲良村大字金屋	神崎郡八日市町	愛知郡秦川村、豐椋村、神崎郡御園村
水口田 下田線	甲賀郡水口町	甲賀郡下田村	甲賀郡伴谷村
水口洲 野洲線	甲賀郡水口町	野洲郡野洲町	甲賀郡柏木村、岩根村、野洲郡三上村
吉野洲 吉野洲線	野洲郡野洲町	野洲郡中洲村吉川港	野洲郡中里村
長濱 大垣線	阪田郡長濱町	縣界阪田郡春照村	阪田郡六莊村、西黒田村、東黒田村
山内 櫻川停車場線	甲賀郡山内村大字山中	酒生郡櫻川村 櫻川停車場	甲賀郡鮎河村、酒生郡西大路村 東櫻谷村、西櫻谷村

長草 津野線	甲賀郡長野町	栗太郡草津町	甲賀郡雲井村、栗太郡上田上村、老上村
上野 草井線	東淺井郡上草野村大字高山	阪田郡醒井村大字醒井	東淺井郡下草野村、七尾村 阪田郡北郷里村、大原村、東黒田村

以上大正九年五月滋賀縣告示第二百三十四號ヲ以テ認定



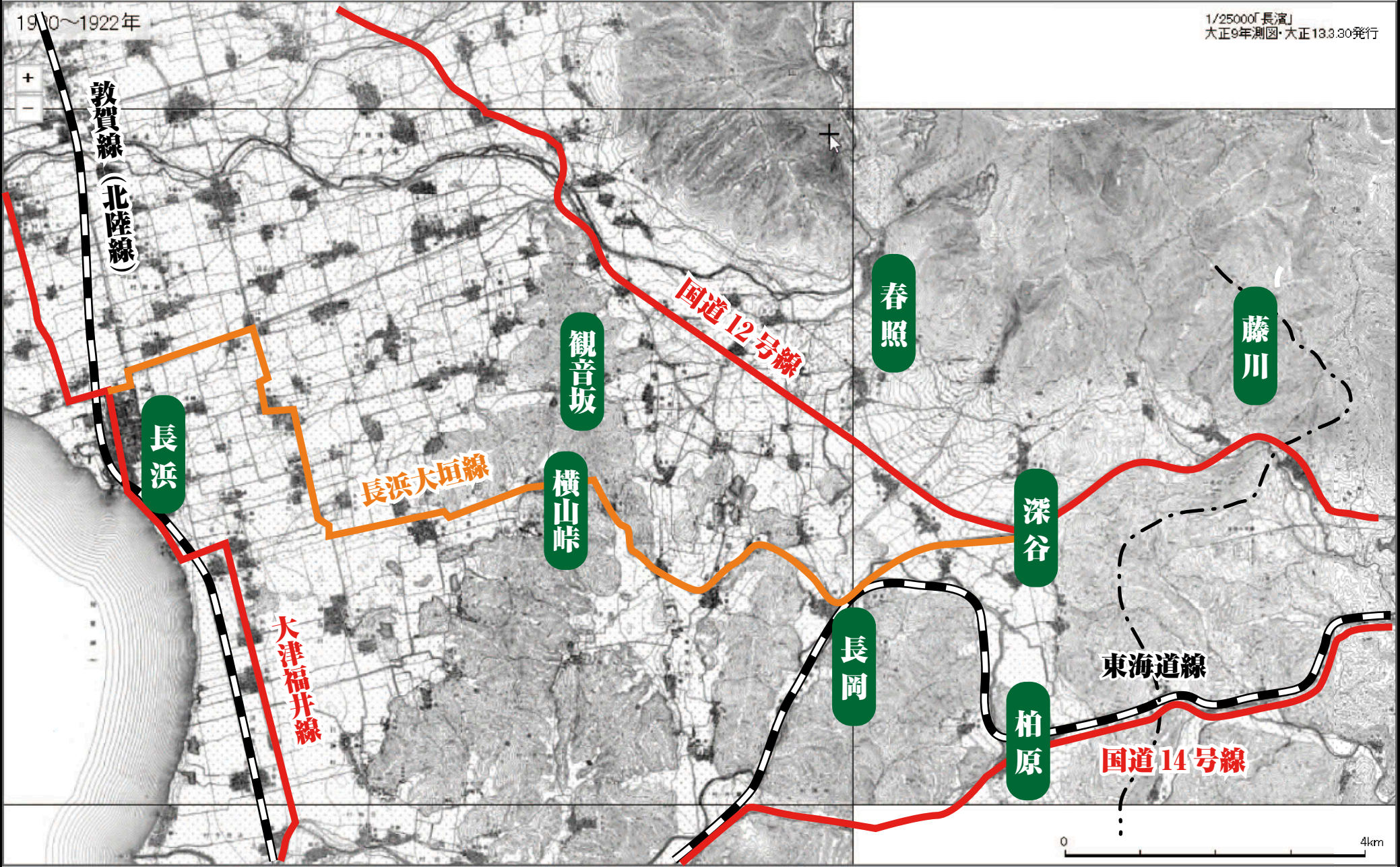


明治26年頃の県道 (『今昔マップ3』より引用・加工)



1910~1922年

1/25000〔長濱〕  
大正9年測図・大正13.3.30発行



大正9年頃の県道（『今昔マップ3』より引用・加工）



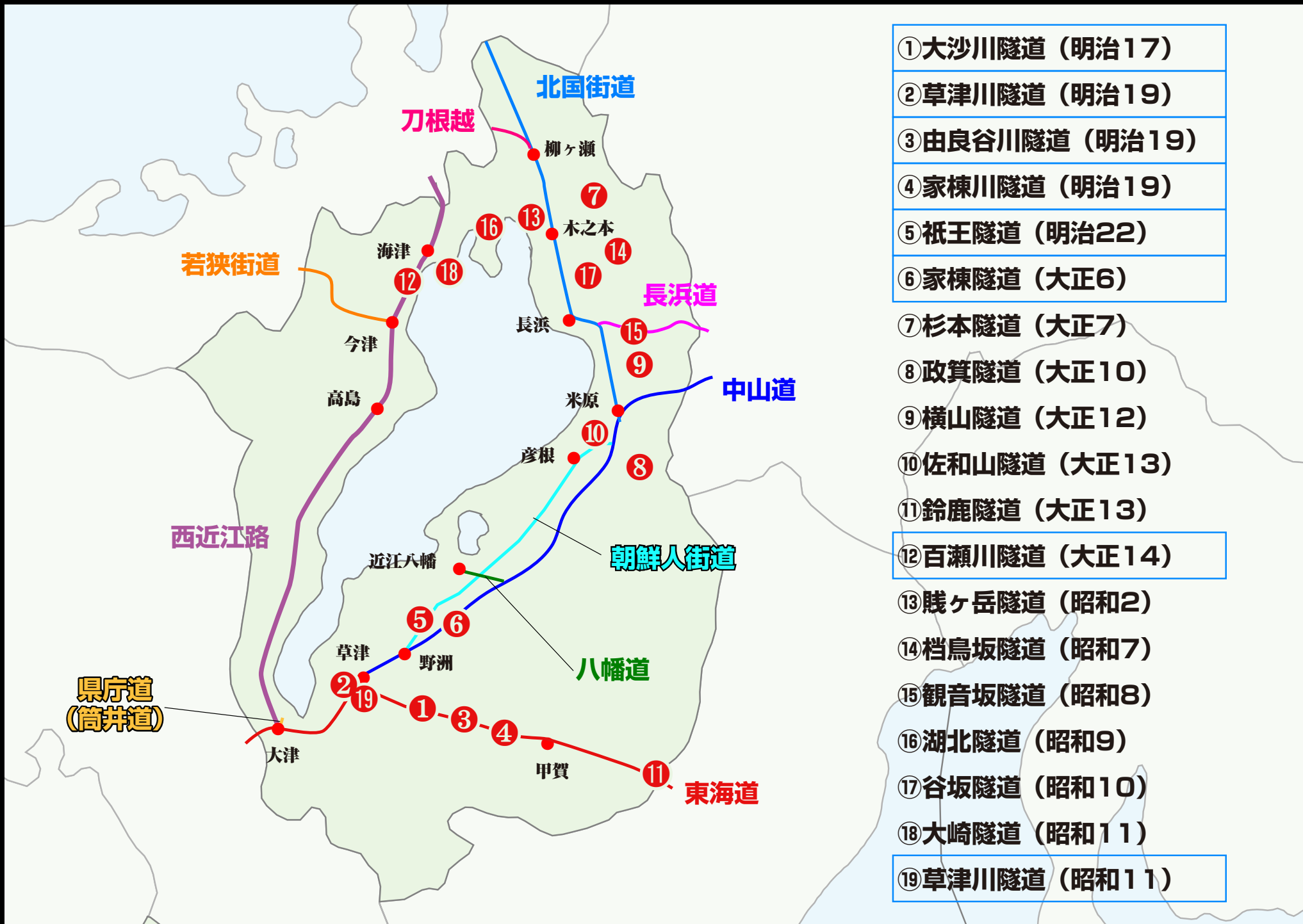
# ● 出典

1. 明治 20 年滋賀県告示 第 63 号 (『現行滋賀県布令類纂 [第 10 冊] 第 5 編 上巻』)
2. 明治 28 年滋賀県令第 12 号 (『土木地理ニ係ル法規類抄』)
3. 官報 第 251 号 (1913 年 6 月 2 日)
4. 官報第 781 号 (1915 年 3 月 12 日)
5. 官報第 523 号 (1915 年 4 月 29 日)
6. 官報第 875 号 (1915 年 7 月 2 日)
7. 『立憲政友会滋賀県支部党誌』 PP.256 ~ 257
8. 官報 1346 号 (1917 年 1 月 30 日)
9. 『大正六年陸軍特別大演習滋賀県記録』 p.2
10. 滋賀県公報第 513 号 (1917 年 7 月 28 日)
11. 官報第 1614 号 (1917 年 12 月 18 日)
12. 滋賀県公報第 554 号 (1918 年 12 月 26 日)
13. 滋賀県公報第 633 号 (1918 年 10 月 15 日)
14. 官報第 2011 号 (1919 年 4 月 19 日)
15. 滋賀県公報第 708 号 (1919 年 7 月 2 日)
16. 法律第 58 号 (官報第 2004 号 1919 年 4 月 11 日)
17. 内務省令第 24 号 (官報第 2203 号 1919 年 12 月 6 日)
18. 勅令第 459 号 (官報第 2176 号 1919 年 11 月 5 日)
19. 『滋賀県史』 第 4 卷 pp.293-316
20. 横山隧道碑 碑文



**【 横山隧道の最大の魅力 】**





- ①大沙川隧道 (明治17)
- ②草津川隧道 (明治19)
- ③由良谷川隧道 (明治19)
- ④家棟川隧道 (明治19)
- ⑤祇王隧道 (明治22)
- ⑥家棟隧道 (大正6)
- ⑦杉本隧道 (大正7)
- ⑧政箕隧道 (大正10)
- ⑨横山隧道 (大正12)
- ⑩佐和山隧道 (大正13)
- ⑪鈴鹿隧道 (大正13)
- ⑫百瀬川隧道 (大正14)
- ⑬賤ヶ岳隧道 (昭和2)
- ⑭档鳥坂隧道 (昭和7)
- ⑮観音坂隧道 (昭和8)
- ⑯湖北隧道 (昭和9)
- ⑰谷坂隧道 (昭和10)
- ⑱大崎隧道 (昭和11)
- ⑲草津川隧道 (昭和11)

滋賀県近代の道路と隧道

※道路は明治20年”県道表”路線+国道東海道